

# 商 況

## 販 賣 旬 報 第 5 號 昭 和 9 年 3 月 14 日

日本製鐵株式會社販賣部

### 細 目 引 問 題

最近新聞紙上や、市場に於て丸鐵の細目引問題に就き種々論議されて居たが、今回鋼材聯合會及び關東鋼材販賣組合の名に於て次の發表があつた。

#### 細 目 引 丸 鐵 に 就 て

拜啓時下益々御隆昌之段奉賀候 陳者我邦鐵筋工事に用ゐる丸鐵に關しては商工省規格統一調査會に於て標準もの寸法及重量を次記の通り決定し建築上の丸鐵諸計算は全部之に準據せしめ居候事は建築御關係者各位の夙に御承知の處と存候然る處右品物の工事現場納め又は實需家向のものは從來納入の慣習上多くの場合現品實買検査の手数を省き算定重量(各寸法の標準重量に長さ及本數を乘じ重量を算出する法)により納入噸數の算出をなすを奇貨とし近來公差以上の細目輕量ものを混入するもの多からざるやに及聞候

斯くては商工省制定の丸鐵の標準規格を無視し延て建築物の安全性を破壊し寒心に耐えざる結果を招來致す次第に候へば丸鐵現品の納入に際しては寸法並に重量につき今後特に嚴重なる御検査の勵行につき御考慮相煩し度此段得貴意候 敬具

昭和 9 年 3 月

鋼材聯合會 日本製鐵株式會社 日本鋼管株式會社 大阪製鐵株式會社 株式會社神戸製鋼所 株式會社淺野小倉製鋼所 株式會社吾嬬製鋼所  
關東鋼材販賣組合 日本製鐵株式會社 日本鋼管株式會社 株式會社吾嬬製鋼所  
建 築 主、請 負 業 者 殿

J. I. S 第 25 號 類別 G-14 頁 1) 昭和 5 年 12 月改正

標準寸法	1 呎重量		公差 %は重量 耗は直徑	最低重量	
	呎	匁		呎	匁
9kg(約3分)	0.152	約 41	5.0%	0.144	約 39
12kg(約4分)	0.271	約 72	"	0.257	約 68
16kg(約5分)	0.432	約 129	"	0.458	約 121
19kg(約6分)	0.680	約 181	5.0%	0.646	約 172
22kg(約7分)	0.908	約 242	0.5%耗	0.867	約 231
25kg(約8分)	1.17	約 312	"	1.124	約 300
28kg(約9分)	1.47	約 392	0.5%耗	1.412	約 377
32kg(約1寸)	1.92	約 512	0.6%耗	1.844	約 492
36kg(約1寸1分)	2.44	約 651	0.7%耗	2.343	約 625
38kg(約1寸2分)	2.71	約 723	0.7%耗	2.603	約 694
42kg(約1寸3分)	3.32	約 885	0.8%耗	3.189	約 850
44kg(約1寸4分)	3.63	約 968	0.8%耗	3.486	約 930
48kg(約1寸5分)	4.33	約 1,155	0.9%耗	4.159	約 1,109

### 3、4 月積鐵力板賣出協議會一値上げ

月日場所 3 月 1 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 4 社、東西問屋及日鐵

議 事 3、4 月積鐵力板賣出に關する件

1、買手希望案

3、4 月積鐵力板賣出希望案

1、輸入採算書別紙の通り

1、賣出希望値段

200 封度もの 27 圓 40 錢替(据置)

170 封度もの 25 圓 60 錢替(〃)

理由 輸入採算は別紙の如く最安値の米國品に付て見るも現在の内地市場値段に比し著敷く割高と相成り居候、反之内地市場は賣行極めて不振に加へ在荷漸増一方の爲め市場人氣は先行一段と不味商狀を豫測せられ居り候際に付 3、4 月積のものは前月値段同様据置に願度

市場値段は次の通りに御座候

日 鐵 品	1 級 品	2 級 品
170 封度もの	26 圓 00 錢	25 圓 3,40 錢
100 封度もの	14 圓 00 錢	13 圓 2,30 錢
獨 逸 品		
190 封度もの	27 圓 50 錢	—
200 封度もの	28 圓 00 錢	—
170 封度もの	25 圓 80 錢	—

1) 2 級品の値引率改訂の事 英、米、獨製の 2 級品に付て見るに英品約 2 志、米品ベース約 25 仙、獨品約 45 仙方何れもプライム値段より下値(但し英、獨品は 170 封度もの、米品は 100 封度ベースに付て)と相成り居候現狀に有之候處日鐵製 2 級品は 1 級品値段の 2 歩引きの爲め此種格落品は次第に海外品に押され氣味と相成り居候間 2 級品の値引率を 3、4 月積のものより 1 級品値段の 5 歩引に御改訂願度 以上

2) 賣手提案 外注は英國と歐洲の協定とかにより堅調を傳へられ、今迄高値の米國品が最も安値採算となる如き變調を呈したるも兎に角高値を報せられ、内地市場は買手提案の如く輸入品の壓迫により若干軟調なるは事實なるも、此際消極的政策に對するは結局市場の立直りを遅延せしむる原因となれば寧ろ外注に追從して市場を刺戟するが策の得たるものなるべしとの意見により

200 封度 28 圓(60 錢上げ) 170 封度 26 圓(40 錢上げ)

と提案したるに對し買手よりは算盤上より 170 封度だけは据置きのみ再希望の開陳ありたるも、日鐵としては或は市場の状態を無視するが如き感あるやも知れざれども市場安定の意味より賣手提案通りせられたしとの意見に一致し賣手提案の次記の通り決定した。

記 200 封度 28 圓(60 錢上げ) 170 封度 26 圓(40 錢〃)は

3) 2 級品の値引 成る程提案通り外國品は 1 級品よりの値開き日鐵物よりも多かるべきも、1 級品の日鐵物は外注より相當下値に置かれあるを以て絶對値は寧ろ外國品に匹敵し得る如く考ふるのみならず、此問題は日鐵増産の曉に考慮すべき事と思はるゝ故暫く懸案とすべしと云ふことに提案したが實情を考慮しせめて 3 分引承引されたしとの事には 3 分引と決定した。

4) 數量・増産の過程に就ては買手側として將來の販賣に於て必要なるべしとて大體増産の計畫を次の通り發表された。

### 第 2 工場 増産の概數

昭和 9 年 4 月-6 月	2,000 噸
7 月-9 月	3,000
10 月-12 月	3,500
昭和 10 年 1 月-3 月	4,000

但し 3、4 月の度には第一工場(舊工場)の修繕の爲め 3、4 月積は兩工場を合して 1,000 噸程度の賣出しとした。

其他の條件は前月通り。

外注値段

1st. March 1934.

	British Make		American Make.	
	I. C. 100 lbs	170 lbs	P. C. 100 lbs	170 lbs
Cif. Price	£ 0-18-2	£ 1-13-6	\$ 4 10	\$ 7 85
Ex. ½, ¾ & \$30.00	¥ 15.43	¥ 28.46	¥ 13.66	¥ 26.16
Int. 1.3% & 1%	.20	.36	.13	.26
Duty	.72	1.22	.72	1.22
Charges.	.06	.10	.06	.10
	¥ 16.41	¥ 30.14	¥ 14.57	¥ 27.74
German Mark		French Marck		
	200 lbs	170 lbs	165 lbs	169 lbs
Cif. Price	Make 21.80	20.70	Fr. 117	120
Ex. 75.5	¥ 28.87	¥ 27.42	Ex. 455 ¥ 25.71	¥ 26.37
Int. 1.3%	.38	.36	.33	.34
Duty	1.44	1.23	1.19	1.23
Charges	.15	.10	.10	.10
	¥ 30.84	¥ 29.10	¥ 27.33	¥ 28.03

鋼矢板協議會一据置

月日場所 3月2日 東京丸ノ内會館

出席者 日鐵及鋼矢板會員

議事 1、矢板會の希望

去年2月に開いたまゝ満1年振りの鋼矢板會である。

其間1回も値下げもせず今日に到りたるも最近に到り外國品の壓迫甚だしく、此儘放置すれば益々國産品の分野を浸蝕せらるゝ虞あるを以て、現在建値を變更し是非値引願度しと云ふ趣旨の下に次の希望案が提出された。

矢板會希望案

1、建値變更の件

(イ) 内地向仕切値段從來 ¥ 155.00(第1種含銅)を ¥ 10.00以上(第1種、第2種含銅)値下げ願度

(ロ) 競争激烈の場合には從來通り臨機値引願度

(ハ) 輸出向建値を ¥ 10.000以上(第1種、第2種含銅)値下げ願度

2、在庫の件

(イ) 引合最も多く且つ速納を要する1號の在庫長さ10m内外のもの殆んど無し、是非此際至急1,000吨壓延願度

(ロ) II號はI號に次ぎ在庫必要に付是亦最近ロール豫定せられ度

(ハ) III號、IV號は納期2ヶ月にて引受願度

(ニ) V號は納期遅くも3ヶ月にて引受願度

3、I號以下の型製作希望。

2、決定事項 1、値段

(イ) 國産獎勵の趣旨より成るべく日鐵製品にて統制したきことは買手希望に一致するも四圍の狀勢より見て現在建値が決して不合理なるものにはあらざるを以て不取敢前同通り据置きとした 純當 155圓(据置)

(ロ) 臨機値引の件は一應希望通りとし(ハ)は先づ内地市場を我有に歸せしめ然る後に輸出を考慮すべしと云ふことにした。

2、在庫の件

(イ)(ロ)(ハ)に就ては工場的情態の許す限りに於て買手希望を容るべしと云ふこととし(ニ)は製作の都合を見たる上解決すべきも一應懸案として残された。

4、5月積鋼板賣出協議會一据置

月日場所 3月5日 於東京本社販賣部

出席者 三井、安宅及日鐵

議事 4、5月積鋼板賣出に關する件

外注は前月に比し2、3圓方高騰し相當の値幅を餘すも中、厚板先物値段との均衡を考慮し前月据置に決定、數量も250吨見當とした。

Chequered plates

April/May ship't

21st Feb. 1934.

Cif.	£ 7- 4-0
Ex. @ 1/2 3/16	¥ 121.79
Duty	25.06
Charges	2.50
per Longton	¥ 149.35
per 1,000 kgs.	146.99

5、6月積小型山形鋼賣出協議會一据置

月日場所 3月7日 於本社販賣部

出席者 日鐵及三井

議事 5、6月積小型山形鋼賣出に關する件

Small Size Equal Angles Quotaion

Tokio, March. 7th. 1934.

Specification	Hamburg tel. Mar. 5th	Exch. @ ½-¾	To-day's Market Price Tokio - Osaka
mm mm			
⅜" × ⅜" (3×20)	£ 6-14-6	¥ 139.48	¥ 110.00 ¥ 110.00
⅜" × 1" (3×25)	6- 4-9	131.34	102.00 100.00
" × 1¼" (3×30)	5-19-9	127.16	100.00 100.00
" × 1½" (3×40)	6- 9-6	135.30	110.00 103.00
⅜" × 1¼" (5×30)	5-19-9	127.16	100.00 102.00
⅜" × 1½" (5×40)	5-19-9	127.16	91.00 92.00
" × 1¾" (4×45)	5-15-0	123.19	113.00 108.00
¼" × 1½" ( - )	5-19-9	127.16	92.00 97.00
" × 1¾" (6×45)	5-15-0	123.19	100.00 102.00

外注 C. I. F. は 3×20 が 5 志方上向きたるのみ、他は前月と變らず唯爲替關係に依り河岸着に於て若干の値上りを示したるも大勢は不變と見て差支へ無く、一方市況も 5×40が在庫減少して氣配強調を傳へられてゐるが概して一般に保合を持続してゐるし伸鐵との値開きも極く僅少に止つてをり、旁々日鐵成立後の市價引下げ策を豫想しての弱氣觀はあるも環境にはむしろ先行期待するに足りる要素も多いので徒らに弱氣に追隨するは市場善導に反し、さりとて値上げを爲すべき時期にも非ざるを以て据置が妥當ならんと云ふ事に一致し次記の通り据置に決定した。

締切日は 2月13日

記	A	B	C
	108圓(据置)	100圓(ク)	95圓(ク)

5、6月積先物協議會一區々値上げ

月日場所 3月8日 東京本社販賣部

出席者 4社、三都問屋及日鐵

議事 5、6月積先物賣出に關する件

外注も大勢變らざるのみならず、市場も取り立てゝ値上げする程の材料もなきを以て前月同様据置きとせられたしとの買手希望があつたが、外注も懸絶したるまゝ大體安定したるを以て若干値上げして市場の沈滞を刺戟し且外注と賣値との整理を顧慮して溝型時を据置大型山形と溝形を 3圓上げ其他を 1圓上げとしたしと謀りたるも買手側希望ありて結局、大型山形と溝形を 2圓上げ其他賣手提案通りの次記に決定した。

數量は大凡先月より減少せざる條件を以て成る可く多く賣出すと云ふことであつた。

5、6月積先物協議會

品 種	入電沖着	河岸着値段 (爲替 1/2-1/8)	希望	決定	備考
角鋼 ベース	£5-10-0	¥119.10	106	107	1 圓上げ
平鋼(日鐵分野)	5-10-0	119.10	106	107	〃
大型山形鋼	5-11-3	120.15	105	107	2 圓上げ
工形鋼	5-4-3	114.30	101	102	1 圓上げ
溝形鋼(吋寸法)	5-16-0	124.12	114	114	据置
〃(耗寸法)	5-7-0	116.60	101	103	2 圓上げ
丸鋼 ベース	£5-10-0	119.10			
〃 9mm	6-7-6	132.81			
中小型山形鋼	5-10-0	119.10			
鋼板 6mm 以上	7-0-0	143.16			
〃 4.5mm	7-5-0	147.31			
〃 3.2mm	7-14-0	154.76			
〃 2.3mm	7-3-0	152.49			
〃 1.6mm	7-6-6	155.39			
黒薄鋼板					
線材 B.W.G.No 5					
鉄板 170 lbs	1-13-9	30.15			
〃 160 lbs	0-18-3	16.36			

5、6月積角、平定期賣出協議會一區々

月日場所 3月8日 東京本社

出席者 4社、定期圓及日鐵

議事 5、6月積角、平賣出に關する件

1、値段 角、平の類勢は其後一向改まらず、今月も不相變伸鐵問題に悩みあるを以て、全部 2 圓下げと云ふ買手希望であつた。

日鐵としては今日は已に需要期を目前に控へ居るのみならず、伸鐵の問題も 1 圓や 2 圓の事にて解決し得るものにもあらず、他方他鋼材との關係を考慮すれば此際値下げすると云ふ事は益々市場を壓迫する結果を招致すること故今月は是非据置きとすることを提案したるに定期圓は前項の理由により極力値下げを主張した、然し大勢より云へば今月値下げする理由は何等發見し得ざるを以て、定期圓が強て値下げを要求するなれば日鐵としては定期の數量の束縛を解き慾しき者だけ申込みを受ける代り値段は全部据置きとすべし但し申込は小型 2 に對し中型 1 の割合とすることとしたしと再提案をなしたるが、定期圓は定期の性質上及伸鐵の對策としても相當數量の賣出しを必要とする様考へらるゝ故數量を

小型 1,500 噸 中型 800 噸

とする代りに値段は特に苦境にある小型物だけ 1 圓下げの次記の通りせられたしとの希望により結局買手希望通り決定した。

角 12mm-22mm 86圓(1圓下げ) 25mm-50mm 95圓(据置) 55 up 103圓(据置)

平 36under 86圓(1圓下げ) 70up 93圓(据置)

數量も 小型 1,500 噸 中型 800 噸

と決定した。

5、6月積 9mm 中丸賣出協議會—9mm 据置、中丸 1 圓上げ

月日場所 3月9日 東京本社

出席者 日鐵、4社及東西定期圓

議事 5、6月積 9mm 中丸賣出に關する件

1、9mm 市場に於ける 9mm の空氣のみより見れば、成行 86 圓なるを以て寧ろ 2、3 圓値下げを希望したきも、其影響する處甚大なるのみならず、85 圓よりの値下げは賣手としても敢行し得ざる様にも觀察せらるゝを以て今月は据置きとせられたしとの買手希望により前月通り据置の次記に決定した。

9mm 85 圓(据置)

數量は 3,100 噸の賣出しとした。

2、中丸 中丸は先月に於ては飽和状態とアウトサイダーを理由に 2 圓下げを執行したが、今日に於ては西安、東高の現象を呈しあるも市況も全般としては追々と恢復しつつあるを以て刺戟の意味を加へて 2 圓上げを賣手より主張したるも漸進の意味より 1 圓上げの次記に決定した。

中丸 105 圓(1 圓上げ)

數量は申込を見たる上決定のこととした。

4、5月積厚板共販賣出理事會一据置

月日場所 3月1日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 川崎、淺野、東海、日鐵及 4 社

議事 4、5月積厚板賣出に關する件

1、買手希望 外注は一時 7 磅位まで硬化したるも其後ザリ安状態となり、現在 6-18-0 を報ぜられ爲替 1 志 2 片 $\frac{1}{8}$ にて換算して 142 圓 52 錢となり、一方中山製鋼、大阪製鐵に引き続き大阪シャーとアウトサイダーの進出に脅えて投賣の品物も散見され手持も大した數量にはあらざるも遂弱氣と成り勝ちなりしも、最近に到り漸く落ち付き模様となり氣分轉換の徵も見へ、此實情よりすれば寧ろ値下げを希望したき状態である、然し此際の値下げは市場に惡刺戟を興ふることとなれば、今月は是非据置きとせられたし數量も餘り多量なるは市場を壓迫するを以て前月通りとせられたし。

2 級品は 1 級品に惡影響を興ふるを以て此賣出しに就ては將來考慮せられたし。猶最近は問題のプレート、カッチングの輸入も大部分其跡を絶ちたるも滯貨としては未だ相當數量を擁して居る模様で現在は兎に角將來に對しては大して顧慮する必要もないと見られて居る。

2、理事會 外注が買手の言の如く軟調とは云へ未だ可なりの値鞘を示しあるも、内地の情態を加味すれば強て之を動かすことも無理と感ずるを以て値段は買手希望の次記の通り据置きと決定した。

耳付 110 圓(据置) 定尺 118 圓(〃)

其他の條件も今月は總て前月通り。

3、數量 數量も買手希望通り前月同様大體 3,000 噸程度の賣出しとした。

4、締切り 3月5日

5、6月積中型山形共販賣出理事會一据置

月日場所 3月9日 東京本社

出席者 鋼管、東海、日鐵、4社及東西定期圓

議事 5、6月積中型山形鋼賣出に關する件

1、値段 買手希望

中山は東西にて状態を異にし、東京は消化は良好ならざるも鋼管よりの出荷僅少の爲め市中品薄となり、大凡 105 圓見當と高値唱へ、大阪市場は神戸、大鐵、尼ヶ崎、住友とアウトサイダーの進出目醒ましき上荷捌き思はしからず、固定居る故在庫としては大なる數量にはあらざるも値段は沓えず、98 圓乃至 102 圓を往來し定期圓としては寧ろ 2、3 圓の値下げを希望したき心情なる上、アウトサイダーの對策は逐月依頼しあるも未だ何等の決定も見ざる状態なるを以て之も合せて考慮せられ買手の安心の行く様せられたし。

共販の意見は輸出も相當ある上東京市場も硬化し鋼材界全般も需要期を控へて明朗となりつつある際なれば、丸鋼關係も一應は考へらるゝ事實なるも外注と照合して不當なる安値を呼び居る市場を刺戟する爲め若干値上げする必要あるものと認めらるゝのみならず、

神戸製鋼も少くも共販と歩調を共にすると云ふ話もありたる故將來市場を脅威する如き事なきものと思はるゝを以て 此際 2 圓方値上げしたしとの提案があつた。

之に對し買手はアウトサイダーに對する不安と丸鋼との均衡上の問題はあつても賣手の強氣にも相當理由があれば是非据置きとせられたしとの再希望があつた。

結局今月 1 ケ月だけは歸趨を見る爲め特に買手の 希望を容れて据置きと決定した。

記 等 邊 96 圓(据置) 不等邊 97 圓(〃)

2、數量 基本通り 6,000 噸乃至 7,000 噸

3、締切 3 月 16 日

Quotation for Chugata Angle

(May/June Ship't)

9th March, 1934

Cif.	£	5-10-0
Ex. @ 1/2 3/16	¥	93.04
Duty		25.06
Charges		2.50
	¥	120.60 per 1'016 kgs.
		118.71 per 1'000 kgs.

5、6 月積中板共販賣出理事會—据置

月日場所 3 月 10 日 東京本社

出席者 東海、日鐵及 4 社

議 事 5、6 月積中板賣出に關する件

1、値 段 外注は 45mm が 2 志高の外先月同様に只爲替關係により 1 圓揚みの値上りを見たるのみにて、市場も在庫も可なり多く値段も前月と大差なく寧ろ冴えざる状態なれば据置きとせられたしと云ふ買手希望に對し共販の態度は外注等より見れば 2、3 圓の値上げは當然の事の様考ふるも 3×6 が變態的に高値を呼び居る外頭重状態にあれば買手希望通り据置きと決定した。

猶アウトサイダーは掛聲はあるも未だ實質的には市場に現はれざるを以て前に述べたる如く 3×6 が高値唱へとなつたものと思はれる。

決 定 値 段

1.6mm	2.3mm	3.2mm	4.5mm
142圓(据置)	137圓(〃)	132圓(〃)	124圓(〃)

2、數 量 共販側の意見としては市場關係よりすれば若干減量するが妥當なるべしとの提案があつたが、兎に角申込みを見たる上決定すべしと云ふことに落着した。

Chuita May/June Shipment

10th March 1934

	May/June	
1.6mm	7-6-6	¥ 156.47
2.3	7-3-0	153.54
3.2	7-5-6	148.79
4.5	7-0-0	144.19

Ex. 1/2-1/4

2 月中三港輸入概況—2 萬 2,000 噸

(1)「その他」を 1 種と見て別表數量表にある 17 品種中、前月より増加した物は 9 種、減少した物は 8 種で増減種は殆ど半々、數量に於ても約 800 噸即ち前月の 4% を増加したに過ぎないので本年となつてからの輸入状態は 1 ケ月 2 萬噸程度の概して自然力的に依つて小起伏を畫くに止り、1、2 月不變と云ふ事が出来る。然しながら今月の數量を前年に比すると大分異相が窺はれる。前年同期に對しても累計に於ても數量は激増であり、而も前年 1、2

月が輸入激増初期の現象として思惑品の擡頭著しかつたのに反して今年は數量は激増してゐるが、其の内容は全般的の増加で市場向の物はむしろ少量である。

需要期となつてからの状態が何らなるか速に斷言出来ないが、前月、今月の輸入に關する限り思惑に大膽となり得ずと云つて全然手をつけなくてもなく、一方特殊物の輸入にはどしどし邁進すると云ふ 1、2 月頃の内地市場の氣迷と同型の歩調を取り數量の多いのに比して從來嘗て見ざる退嬰の状態を示してゐる。要するに日本の諸事情の變化に連れて輸入界の居處も上昇しつゝあつて前月今月は過渡期の状態を示したのではあるまいか。

(2) 例に依り今月の輸入を品種別に眺める事とする。

丸鋼、今月は神戸は全部特殊物。大阪は中丸 200 噸、太丸 200 噸、特殊物 50 噸、横濱は中丸 80 噸、特殊物 170 噸、即ち三港計 900 噸の中市場向約 500 噸特殊物約 400 噸である。

丸鋼は國內の供給力が 50 萬噸に垂として居る上に、伸鐵、其他のメーカーが何時進出して來るか分らない物であるし、且つ輸入の脅威もあるので、常に憂如たり得ない環境に置かれてゐる。尤も其點は先刻御承知の事とて輸入は前年の最盛期後、先行に見切りをつけて逸早く思惑退却して特殊物が残る事となつたが、其處は何と云つても抜目の無い商賣柄、矢張機會は常に狙はれ、算盤は常に弾かれてゐるので今月の如く伸鐵や、群小メーカーの影響を受ける細物は全然影を潜めるが、中丸、太丸には一寸好調の影がさしたので市場向の物が 500 噸も輸入される事となる。輸入は水物である。多くの業者が各自の見解に依つて自由奔放に行動するのでその起伏は全く豫斷を許されないが、今回の如く餘りにも正確敏感に市況を反映する處から推測すると、新規に手當された物も有らうが保税に貯へてをく力が有つて其時々市況を計つて税濟するのではあるまいかとも思はれる。何れにしても得てして、混亂に陥り易い丸鋼界が何時迄も輸入の脅威の下に在る事が寒心に堪へない。

今月が時が時なので中丸共三、四の手筋に依つて輸入されたに過ぎず且數量も大したものでもなかつたが、變轉自在の輸入の事であるから、若し市況に一寸力強い動きでも現はれれば、復々例に依つて例の如く抜け掛けの功名が功名とならず、蓋をあけると隣り近所に御同役がウヨウヨしてゐて、ドモならんと云ふ格構になるのではあるまいか、本邦の生産力擴充を慮つて今後の購入は餘程慎重に立ち廻つて戴き度いものである。

角鋼は元來市場性に乏しい物なので過去に於ける最も多量の輸入數量と雖も 1,000 噸を出でず實需に應じて 1,000 噸前後から 1,000 噸以内の間を往來してゐる。今月は前月に比しては多いが、それは前月の大阪には 1 噸も入らなかつたのが、今月は大阪の全部即ち市場向 80 噸が某一會社に依つて輸入されたからである。實需の範圍を出でざるのが常態である今日大阪の現象は少しく例外であるが、絕對數の少い角としては、其の折々の氣紛れに依つて此の程度の綾を示す事は免れず大阪は例外として横濱、神戸は全部特殊物なので今月の角鋼は分相應と見られてゐる。

平鋼は角よりも動きの有る物なので常に角よりは多く輸入され、時には昨年 6、7 月頃の如く異常なる状態を示す事もあるが概して歩みは角と似通つてゐる。今月の内容は神戸の全部は特殊物、大阪の全部は市場向の物で角と同手筋に依つて輸入され横濱の大部分は大阪の輸入者とは別の會社に依つて輸入された物である。平も前月より増加し、且つ市場向の物が有るのは何を血迷つてか臆靄が伊勢灣に上つたやうな物であるが、棒鋼の市況沈滞の 2 月に丸、

角、平が之れだけ輸入されたのは、先高見越の思惑と見るよりも、日本経済界の居處と生活標準の高度化とを示すのであるまいか、今月の棒鋼合計は 1,334 吨、前月は 700 吨、本年累計は 2,000 吨前年同期累計は 1,500 吨である。

等邊山形は前年 11 月以後激減して 200 吨乃至 500 吨程度となり、今月も前月より 100 吨の増加であるが 500 餘吨で大した變化は無いが、保税に在りと噂を裏書きするかの如く神戸には皆無であるが、大阪の全部は八幡物の入荷少さを傳へられてゐる大型物、横濱の全部は鋼管からの出廻り下圓滑の爲硬化を傳へられてゐる物及び其他の好調を傳へられてゐる中型物と云ふ打てば響く輸入振である。何れにしても昨今の熱狂時代に比すれば雲泥の相異であるが打てば響くと云ふのが直ぐ様保税を思はせられるし型物の市況が兎角強調を呈したがつてゐるので、市場性の強い等山の状態は全く見當をつけ兼ねると云はれてゐる。不等邊は前月が昨年 5、6 月頃に比適す數量であつたので今月の 100 吨は遙に少いが之れ又全部が大阪に入つた 15×100×150 と云ふ物。溝形、工形に至つては何れも前月より増加し、而もスクラップとして申告して課税された少量の他は大阪、横濱共全部が市場向の物で型物全般に數量は少いが、特殊物に赴くのが通常であるべき現情に反して市場向の物に食指が動いてゐると云ふ現在の先行不透明なる鐵鋼界にふきはしい一種異様な輸入状態を示してゐる。

鋼板 0.7mm 超は減少したとは云へ相變らず約 3,000 吨を輸入され前月に比しても大差なく累計に於ても昨今年は殆ど同量なので 6 年 7 年頃の 1 ケ月の輸入數量 100 吨とか 500 吨とかと云ふ概念は訂正して少く共 1,000 吨以上が輸入されるものと思はねばならないのであるまいか、神戸の全部は特殊物である、大阪 2,000 吨の中 1,100 吨はスクラップ、750 吨は中板、50 吨は厚板、残り 100 吨は特殊物。横濱は 800 吨の中、中板 300 吨、厚板 500 吨、残り 450 吨は特殊物である。中板も厚板の思惑も一時から見れば相對的には激減したが、未だに鋼材中で目立つてゐる。

鉄力は前月よりも減少したが約 6,000 吨近く輸入され前月今月で 1 萬 2,000 吨となつてゐる。市場が擴大され、需要の増加した事は認められるがざりとて此の數量が妥當であるとは思はず、市況の不味も其の根原は此處に存すると見られてゐる。軌條には最近スクラップとして申告した物に課税された物が多く、今月も大阪の全部はそれであるが、之れは主として杭木等に使用される物と云はれてゐる。軌條、シートパイリング、鋼管共に從來の状態と變りなく依然として實需の範圍内で増減を繰り返してゐる。

今月目立つて變化を示してゐるのは線材で 3,000 吨を輸入された。神戸は全部特殊線材、大阪は供托品 100 吨、特殊線材 600 吨、市場向 800 吨、横濱は特殊物 550 吨、市場向 950 吨である。線材市況沈滞を報ぜられてゐる際 1,700 吨以上が市場向として輸入されたのは解譯に苦しみ之れが悪い材料とならねば幸と云はれてゐる。

「其の他」は最近 1,000 吨以上が常態となつた。其の大部分は特殊鋼と電氣鐵板と鋼板が占め丁形鋼、球山形、八角鋼、六角鋼等が宛輸入されるのが近來の傾向である。鋼材の性質上實需特殊向であ少量の可きであるが鋼板と電氣鐵板は内地生産力と需要の關係から市場向として輸入され、殊に昨年來鋼板が激増して、平靜なりし「其の他」にも時代の推移を反映してゐる。

#### 東西市況一區々

曇天の日には雲の奥に未だ雪氣が含まれてゐるかに見へるが一旦陽が射せば何と云つても春ならでは味はれぬやはらか味が感じられ

る。

従つて霜枯時は脱したと云へるので季節的にも荷が動かざるを得ない上に、餘慶未だしと云はれてもインフレの影響に依つて年度末の契約が取り急がれてゐるのは事實なので、之れ等の荷動にも好感が持たれて概して悲觀の跡は絶たれたが、未だ市況を左右するだけの力無く現在市況は在庫の如何に依つて區々の動きを示してゐると見られてゐる。

さらば東京方面は、過般來の手當薄とデリバリーの跋行に依つて生じた品薄物が思惑されて、尙更品薄觀を助長したので安値物は買漁られて引締り、市況は好調に數種の保合を除いては 1、20 錢乃至 4、50 錢方上向いたが、大阪は、伸鐵も共にメーカーより出廻りの多いのに加へて、舶來物の祟りもあるので荷免れ啣たれをり旁々丸鋼に統制力無く不味臭まざる爲め連れて全般的に氣配沈滞し、大型物と鋼板の中の品薄物に小廻りの物を見る以外は食ひ過ぎに依る軟調と云はれ東西相反した市況を呈してゐる。

#### 東京市況

丸鋼 昨年 11 月初旬の 11 圓を峠として軟勢に轉じ日に月を追ふて一路下押しを續けた細丸も此所へ來て大阪伸鐵業の賣出値段 8 圓 8、90 錢が最低となりたる爲め安物の入手愈々困難となり旁々ベースの好調を映して下げ止り相場は久々に 9 圓 40 錢の強含み保合を報じてゐる。9mm は伸鐵は退却によつて八幡物が標準となり、従つて強調。ベース丸はメーカーの強腰販賣組合の 8 圓 60 錢以上賣の協定需要の據頭等々好條件に恵まれた上に丸鋼販賣會社設立の難産も要するに抜賣買が出来なくなつた證查なので茲許市況は歩一步堅實味を増し、8 圓 60 錢を最低に長物は 8 圓 7、80 錢で取引されると云はれてゐる。

中丸はスモールインゴットから延く速成品も消化され概して品薄となりたる處から 50.55.65 共に 11 圓カッチリを唱へられ 70.75 は 11 圓 20 錢 80 は 11 圓 50 錢 90 以上は 12 圓 50 錢前後の高値唱にて先行も樂觀されてゐる。

太丸變らず、相場は 12 圓 50 錢を堅持してゐる。

角、平鋼 角、細物は伸鐵の亂入熄みたる爲め下げ止りと云はれ 19mm 以上は一頃よりは入荷順調なる爲め飛び離れたる物も無くなつて 44mm 以上は 11 圓 50 錢乃至 12 圓となり相場は漸次平均されつゝあるが地方筋からも引合つて季節相應には荷動が有るし旁々丸鋼に引摺られて氣配はむしろ好調と見られてゐる。平鋼 3mm 厚は伸鐵の下げ止りに依つて 9 圓 30 錢が最低となりたるも 6×38、6×50 は在庫相當に有る爲め伸憐み、八幡物も入荷順調に目立ちたる品薄物も見當らず東京着 10 圓搦が標準となりたる爲め相場は幾分小甘しと云はれてゐる。16×90、16×100 等は独自の立場に在り在庫も少いので値段は 12 圓と駢りを唱へられてゐる。

型鋼 小山形は商談がボツボツ有れ共 3mm 厚は在庫未だに減少せず、其の他の物も 5×40 以外は荷動少き物なる爲め伸憐みでは居るが、型物全般の好調に連れて軟化はせずと云はれてゐる。ベース物は依然としてメーカーより出廻り少き爲め大阪より引く状態最近 2 ケ月間に 7、800 吨は買はれたとか云はれ小口ながら需要も有るので先行も樂觀され強調を持續してゐる。大型物は極く稀に雀糞的の入荷有れ共燒石に水であるし大阪に思惑買も現れて市中在庫極減、少量を廻しするので尙更に不自由を啣たれ依然として強調を傳へられてゐる。不等邊も全般に入荷少く搦て加はへて西路に流れる物なので安物は買漁られて活況を呈し就中大型物は先高見込に 3、40 錢方引締つたと云はれてゐる。

溝形は先物が耗物2圓上げと發表されたのと、車輛用、建築用の實需も出てゐるので活況を呈し  $\frac{3}{8} \times 3 \times 6$  0.312"  $\times 2\frac{1}{2}$ "  $\times 6$ " の如く在庫豊富なる物も賣集らざる爲め値段を崩さず  $5 \times 50 \times 100$   $6 \times 50 \times 125$  は買集められて戻り、 $9 \times 90 \times 250$  は殆ど全部大阪に引かれて無物高となり、 $90 \times 300$  も入荷一巡に稍品薄を來して3、40錢方反撥し、總じて溝形は先高見越に思惑の對象となり人爲策に依つて實質以上に品薄と見られてゐるが實需に依る荷動の有る事も事實で茲許活潑なる商況を呈してゐる。工形も一、二在庫多くして保合の域に在る物もあるが買集めに依る在庫の偏在や八幡よりの入荷少きを爲めジリ高の何れも堅調と云はれてゐる。

**鋼板** 概して品薄物多くなつて氣配明朗  $1.6 \times 3 \times 6$  は何處でも製作出來る物と思ひ込んでゐた處が何處からも出廻らず旁々手當薄なりし爲め品掠となり先物は15圓2、30錢、現物は15圓4、50錢、安値物にても15圓30錢以下の賣物無く一段と光つてゐる。 $1.6 \times 4 \times 8$  は在庫豊富なるも先物145圓据置なると賣出純數僅少なる爲め下値なく強含に保合ひ、 $5 \times 10$  は大阪方面に品多く、荷動も涉々しからざる處から小甘く17圓擲に軟化し、 $2.3$  は荷動少く値段は $3 \times 6$  15圓、 $4 \times 8$  14圓80錢、 $5 \times 10$  16圓40錢の保合ながら全般的に在庫さして豊富ならざる爲め消化力の如何に依つて伸びるのではあるまいかと見られてゐる。 $3.2 \times 3 \times 6$  も八幡、東海の品物減し、近々入荷の見込も無き折柄現實に取引も有るので4、50錢方上放れ、連れて $4 \times 8$ 、 $5 \times 10$  も見込まれて鹽廻しが現はれたが數量が多くなかつたので踊らず氣配強含みながら相場は保合、 $4.5$   $3 \times 6$  は不變、 $4 \times 8$  は安物消化されて小戻りとなり値段は20錢方上向き、 $5 \times 10$  も品薄に入荷も見込まれざる處から氣配好調を傳へられてゐる。

厚板  $6mm$  は品薄に依つて戻りを唱へられてゐるが、 $8mm$  以上は大阪方面の製作關係懸念に伸悩み、相場は12圓3、40錢以上13圓以内の保合と云はれてゐる。

### 大 阪 市 況

**丸鋼** まだ春の淺い座敷の中は、肌寒いばかりもの静かである時たまはぶきの聲をさせるものがあつても、それは微かに漂つてゐる墨の匂ひを動かす程の音さへ立てない。けれ共、ごらんよ！戸外は青々と伸びた若草のうへに陽炎はもえ、水ぬるむ小川には目高さ走り、空にはうらゝと雲雀啼きのぼり、春の表情は光、喜び、明るさでいつぱいだ、我鐵鋼界の昨今の閑散なる商状も所謂底値鍛鍊の結果と見られ春の行進曲と共にやがては踊り出すであらうと見る筋がある。

細丸は既報の如く伸鐵組合の統制不徹底のため抜賣手合が益々増加し市中には共販建値より3圓方安値の品物も散見せられ全く浮ぶ瀨がないといはれてゐる。 $12mm$  メーカー並に問屋のコントロール宜敷きため比較的手堅い成行を示してゐる。ペース物は需要期を目前に控へて賣行良好なる所へ當所を始め各メーカー共強腰であるので氣配は茲許戻りと云はれてゐる。而しこの品は伸鐵其他の手近な所にあるメーカーよりの出廻り順調なるため相場は伸力に乏しいようである。中丸は概してカツチリしてゐる。 $50-65$  10圓70錢、 $75-11$  圓50錢、 $90-100$  12圓50錢擲みである。太丸は最近日鐵よりのデリバリー順調なるため氣配は一服なるも四圍の事情からして目先期待する向が多い。

しら浪となりゆく磯の雪解かな

**角、平鋼** 角鋼細物は伸鐵品のため荷動き抄々しからず、其他のものは當所定期ものゝ入荷に相場は頭打ちとなり、太物は市中品

掠れのため相場は比較的高い。平鋼は荷廻り良好なる所へ伸鐵組合員中抜賣を敢てするもの現れ従つて相場は崩れ勝である。

**型鋼** 小形アングルは伸鐵品に押されて不況。 $3 \times 40$  は伸鐵の脅威なきため11圓と光つてゐる。中形アングルは東京高に刺戟されて幾分氣を持つてゐるようであるが何分にもアウトサイダーの積極的市場進出のため相場は伸びそうで伸びない様子である。 $8 \times 50$  賣足の鈍い品ではあるが手持ちも少い所から相場は11圓と目立つて居る。大形アングルは需給のバランスがどれてゐるので相當な利益をあげてゐるようであるチャンネル及びジョイストは小口ではあるが建築方面より注文あり旁々東京よりの安値品の入荷も一巡したため強含み保合である。

**鋼板** 1、2中板は賣行弗々あるも徳山其他のアウトサイダーよりの大量積出しのため市中ストックは豊富となり従つて相場は不伸。厚板はアウトサイダー並にシヤア方面の安値品に押され勝ちと云はれてゐる。

**線材** 市中在庫はさして多い方ではないが何分にも製品の賣行芳ばしからざる爲め相場は先物來1圓方反落、而し目先需要期入りと共に氣配は幾分見直すであらうと見られてゐる。

**鐵力板** 需要期入りと共に相場はジリ高歩調となつたやうである外注品の入荷も大體一巡したようであり目先幾分期待されてゐる

### 販 賣 旬 報 第 6 號 昭 和 9 年 3 月 22 日

日本製鐵株式會社販賣部

#### 5、6月精美板會賣出協議會一番物のみ値上げ

月日場所 3月4日 東京本社

出席者 三井、高島屋及日鐵

議 事 4、5月精美裝鋼板賣出に關する件

#### 1、賣手側希望

1、値 段 近來美裝鋼板は概念的に賣行不振に啣たれて居るが其原因としては中板等の環境によることも事實であるが一面製品が一時より粗悪となりたる事も慥かに禍して居る。即ち厚さの不同歪等により使用者に不安を興へて居るから此原因が除去されるれば需要も當然増加するものと思はれる。値段に就ても斯る事も加味して前月据置きとせられたし。

2、數 量 市場の状態は叙上の理由により、在庫數量は東西合して1,000 噸足らずを擁しを以て理論的に云へば賣止めも一案なるも、在庫も偏在して必要なるものは必要なるのみならず定期的の實需家に材料を杜絶せしむることは結局販路を萎縮せしむるを以て400 噸程度の賣出しを繼續されたし。

2、決 定 番物の基準となるべき黑板は大部の値上りを見たるも近來の黑板は寔に浮動多く單純に是のみを基礎とし得ざる事情も加味し、若干の値上げに留め、耗物は總て据置きと決定した。

數量は買手希望通り400 噸以内の次記の受注とした。

鶯	鳩	計
100 噸以内	300 噸以内	400 噸以内

但し番物は50 噸以内のこと

#### 3、締 切 3 月 20 日

#### 4、5月精美板會賣出協議會一据置

月日場所 3月15日 東京本社

出席者 三井、岩井及日鐵

議 事 4、5月積スコツプ用鋼板賣出に關する件

外電は殆んど不變6片安を報ぜられたるに止まり、又中板値段も動かざる上、市中在庫は當社一括積出により一時過剩状態を呈した

るも其後官廳方面の年度關係による需要擡頭により近來稍緩和せられ漸く平定に向ふ氣配となりたるを以て据置きとせられたしとの希望により据置きと決定した。

數量は前月通り 300 噸の賣出しとした。

April/May  
Shovel Sheet

1'85mm x 4' x 8'	cif	8-15-0
Ex 1/2-3/8		148.68
Duty		32.01
Charge		2.50
		183.19

1,000kg ¥ 180.73

March/April shipment ¥ 170.00

5月積三S會賣出協議會—据置

月日場所 3月14日 東京本社  
出席者 三井、三菱、高島屋、日立及日鐵  
議事 5月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値段と數量 先月若干の浮動を見せた外注は今月に於ては cif は全然不變、只弗爲替の變動の關係のみにより米國物は僅少な安値採算となつたのみである。

一方内地の消費力は漸増の傾向で前月無理をして 1,400 噸以上の受注をなしたに不拘今月も買氣旺盛で買手希望は前月と殆んど變らない申込を見せて居る。

値段に就ては單純に買手希望を容れて据置きとし數量に就ては第一薄板工場がシャフトの故障を生じたる爲め若干の積遅れは已むを得ざる状態となつたが、此事を買手承知の上希望通り引受けることとした。

猶例の獨逸品の脅威も近來全然姿を消したる模様なるを以て將來に於ては内地値段か或は輸出向數量に就て考慮したき意向なる旨賣手提案があつた。

2、決定値段

- (イ) 電動機用珪素鋼板 B 1 級  
函入のもの 1 噸に付 金 305 圓(据置)  
裸バンド締のもの // 金 295 圓(〃)
- (ロ) 電動機用珪素鋼板 C 1 級  
函入のもの 1 噸に付 金 325 圓(据置)
- (ハ) 電動機用珪素鋼板 D 1 級  
函入のもの 1 噸に付 金 345 圓(据置)
- (ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級  
函入のもの 1 噸に付 金 420 圓(据置)
- (ホ) 2 級品 3 割見當混入差支なし  
2 級品の賣値は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと
- (ヘ) 珪素鋼板厚物に對しては T 級品は金 10 圓引其他のものは各種共金 5 圓引のこと。

3、締切 3月20日

Latest current prices of Foreign Elect. Steel Sheets

Tokyo, March 13th 1934.

	English (Ex. 1/2-3/8)		American (Ex. 30-1/8)		
	Stalloy (T)	Special Lobys (B)	Apollo Special (T)	Armco Trancor#2 (T)	U. S. Electrical (T)
Cif per 2,240lbs	£27-11-6	£21-2-6	\$ 133.42	\$ 135.52	\$ 102.50
Exchange	¥ 466.46	¥ 357.36	¥ 443.80	¥ 450.78	¥ 340.95
Interest 1.3%	6.06	4.65	5.76	5.86	4.43
Import. Duty	6.77	6.77	6.77	6.77	6.77
Landing Charges	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
Per long ton	¥ 480.40	¥ 369.88	¥ 457.43	¥ 494.51	¥ 353.25
Per 1,000 kg.	¥ 472.83	¥ 364.06	¥ 450.20	¥ 457.17	¥ 347.66

4、5月積縞鋼板の引受—引受 250 噸

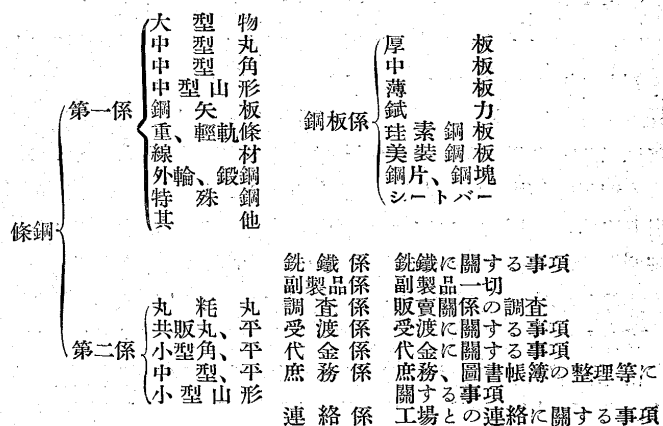
縞鋼板の波瀾も外注と内注に依つて漸く緩和されて昨今は 105~170 圓と云ふ平凡に近い値段と化し數量も大して不自由しない程度となつたので騒ぎも大體納まつたと見るが妥當と思はれる。

今月の賣出數量も前月と大差なき次記に決定したが市場が前記の様な状態故此數量が特に物言ふ程の材料とはならないと見られ山も越したと思はれて來た様である。

4、5月積縞鋼板の引受高

	定尺	耳付	合計
45 mm	47.5 噸	60 噸	107.5 噸
60 mm	55.0	57.5	112.5
80 mm	10.0	5.0	15.0
90 mm	5.0	10.0	15.0
合計	117.5	132.5	125.0

販賣部分擔事務



3、4月積中板の締切—申込 5,600 噸

申込は例によつて東京のみで大阪は直ちに割當てた。最近の中板は若干變調を呈して居る、即ち 3x6 がアウトサイダーの進出によつて浸蝕されるだらうと云ふ假想の下に極端な買控へをした處が案外アウトサイダー物が出て來なかつたので 3x6 が手

3、4月積中板の申込及引受高

向區別	東京	大阪	名古屋	其他	計	
申込高	16mm	890	350	75	10	1,325
	23	655	155	50	2	862
	32	1,420	635	180	75	2,310
	45	665	230	80	15	980
	耳付	60	60	—	—	120
計	3,690	1,430	385	102	5,597	
引受高	16mm	250	350	50	10	660
	23	145	155	30	2	332
	32	315	635	55	75	1,080
	45	115	230	45	15	405
	耳付	60	60	—	—	120
計	885	1,430	180	102	2,597	

持薄となつて飛躍し其代りあればほど強調を續けた4x8 や 5x10 が引弛みを見せると云ふ奇觀を呈するに到つた。

然し概観すれば若干は弱い様ではあるが兎に角堅固たるに變りないと云ふ幸福な状態に置かれて居る。

申込も大同小異で取り立て、云ふ程の事もなく、總計で 300 噸程度増加したに止まる状態である。

引受は若干減少して 2,600 噸程度にされたが之も特に理由ある譯ではなく成るべく少なくしたいと云ふ難有い工場状態から出發したものとと思はれる。

4、5月積厚板共販締切理事會—申込 9,500 噸

月日場所 3月6日 東京日鐵販賣部

出席者 淺野、東海及日鐵

議事 4、5月積厚板の申込及引受

前月に於ては4社間の申し合せが利いて4,500 吨と實際に近い様な數量の申込を見たが、今は再び自然バンドが解けて、其結果急増して1萬吨近い數量となつた、然し増加の理由のみに限定するのは稍早計で市場から見ても大阪のプレトカツチング其他で悪化するかに見えた狀勢が諸種の原因によつて打ち消されて稍見直されて來た事も見逃すことの出來ない素因とも思はれる。

揚地別に出て來ないから地方別による趨勢を判斷することは出來ないのは残念である。

引受は前月と殆んど變りなく3,500 吨程度とした。

4、5月積厚板申込及引受高

向 區 別	先 東京	大阪	名古屋	其他	計
申 込 高	川崎		495		495
	淺野	1,225			1,225
	東海	425			425
	日鐵	3,870			3,870
	無指定	3,525			3,525
計	9,540				9,540
引 受 高	付尺板	3,095			3,095
	耳切	400			400
	計	3,495			3,495

第311回關東鋼材理事會—据置

月日場所 3月15日 東京丸ビル關東鋼材組合

出席者 鋼管、吾孺、日鐵、三井、三菱、岩井、富士鋼材

議事

1、引合と引受 忍苦の數ヶ月の效果漸く現はれた故近來急劇な引合の増加を見て3月8日より14日迄に於ける引合は總計7,685吨と云ふ龐大な數量となつた。あれ程永い間影を潜めた需要が斯くも掌を反す様な現象を呈すると云ふことは一寸常識では判斷し兼ねる程であるが兎に角鋼が斯く芽を吹き出した事は鋼材界全般に好影響を與ふことは確實である引受は値段關係等により4,040吨となつた。

2、値段 外注は次表の通り119圓10 錢と保合を示し、在庫高は京濱名古屋のみにも2,000 吨見當の減少を見市場も組合の結束を見て寧ろ強調を傳へられ、永い冬籠りに甚だしき不況に沈淪した丸鋼も漸く一縷の曙光を見た感があるが未だ値段を左右する程の現象にあらざるを以て据置きとした。

記 12mm 87圓(据置) ペース物 87圓(〃)

外注値段

Cif	5-10-0
Ex 1/2-1/2	¥ 93.45
Duty	25.06
Charges	2.50
Per 1,016Kgs	1,210.1
Per 1,000Kgs	1,191.0

東西市況—先高氣構

「水滲む雪に下萌ゆ春草の香ひろる空知川の邊」。よくしたもので春來れば雪の下にも草は萌えるとか何とか勝手な事を云ふが3、4年前の春はどうであつたが、春去れど堅氷解けず腰折れ處の騒ぎではなかつたのに儲からぬ儲からぬ聲はあるが兎にも角にも鼻唄交りの市況が書けるとは實に幸である。

何時の間にかやら彼岸に入つた、暑い寒いも彼岸迄で冬眠の鐵鋼界も漸く醒めかけた。其主要な原因は春に甦れた丸鋼の統制によつて

市況が見直したからである、何と云ふても丸鋼は「新東」である。魚は鯛が代表する。腐つても鯛が生きて來れば活況を帶ぶるのは當然である。

然し現在の市況全般としては帳端近くなつたので店賣りは來勤待ちの爲め著しく不活潑となり實需も型物には相當の消化力があるが丸鋼は大して動かず地方雪が深かつた事と數回高値飛び付きに懲りて居る爲め自重して買氣は鈍い、従つて値段は思ふ程切れないが陽春の買氣に期待を懸けて下値は無く、一般に先行高値氣構へで樂觀と見られて居る。

尙東京では19日から中島鋼管が作業を中止した爲め月算1,500 吨内外の丸鋼の供給減となるので丸鋼に付ては益々期待が掛けられる事となつた。

東京市況

丸鋼 ベース丸鋼に就ては随分永い間錯綜した種々の原因によつて萬年不味の渾名さへ附せられて居たが、メーカーの自制、問屋の自覺等あらゆる努力によつて漸く此處に春は廻り來つて前旬頃から見直し状態となり今旬も賣行は不振ではあるが10 錢方の反撥となり70 錢もどうやら成行となりそうな氣配を馴致するに至つたが近い將來の硬軟はメーカーが此情勢を如何に生かすかと、問屋筋の統制が何處まで及ぶかに懸つて居るので兩者の一致合體した努力を望んで已まないと云はれて居る、12mm は伸鐵が一時の安値に萎縮した反動もあつて並びまでは商内が出来る様傳へられ、9mm もベースに連れてボチボチ擡頭と云はれて居る。

中丸は伸鐵も精々55mm迄であるし、輸入物も追々と消化されて來た爲め材料待ちに高値保合を續け、太丸の12圓50 錢は判で押した様にビクともせず、之れも品掠れが原因と讀まれて居る。

角、平鋼 丸鋼さえ好くなれば角、平は之れにお伴をするのは原則であるから、賣行不振や伸鐵など弱氣材料の跡を絶つた譯ではないが丸鋼ベースの好調に刺戟されて心持ちだけ一寸強氣を覗かせて來た。但小型物はそれこそ伸鐵の關係で大して期待は懸けられて居らぬ模様である。

型鋼 小山は共販の賣出數量の加減と値段關係から伸鐵物が出漁つたのと大阪方面の急需によつて若干見直し、特に5×40 は一時8圓80 錢まで唱へられたのが最近品薄に4、50 錢の反撥で9圓2、30 錢揚みを唱へられて居る、中山は出廻り極度に不順調な爲め西路からの入荷があつたが未だ未だ緩和されず在庫も甚だしく減少し不自由を感じて居るが其割に値段が飛躍しない、其原因は各店共相當の割當を擁して居るのでそれが何時如何なる状態で出廻つて來るか見當が付かないので恐ろしく伸びるに伸びられぬ實情と云はれて居る。大型等山は可なりの數量が大阪へ引かれて東京ではそろそろ手持薄となり一齊に高値警戒から形勢觀望と見られて居る、不等山も共販サイズ不足にて強調、50×75 は東西及東京だけでも色々値段が異なるが之れは過去に於て鑄付きの多量の入荷があつたので1 級品と其鑄付物の値段の異つたのが表面に現はれたに原因し東京でも鑄付きも追々と消化されて來て1 級品としては此値段より、5、80 錢高と傳へられて居る。溝形は品薄と賣行順調に好調裡に推移して居るが値段は自重して上放れる様な事もなく、工形も手持薄に堅調を保ち特に兩者共200mm以上は品拂底に強調と見られて居る。

鋼板 1、2 中板と云ふものはよくも斯の様に永續きするか寧ろ不思議の感がある、外注も可なりあつた、アウトサイダーの聲も喧しいに不拘らず、必ずツツやニツは堅調を傳へられて中板の全般を引き立てゝ居る。現在にしても一時アウトサイダーの懸念から



3×6 を内注外注共極度に買控へた爲めと一時の安値の頃に實需家が 3×6 物を買漁つたので此處へ來てから反動高の珍現象を呈し其代り有望だ有望だと飛び付いた 4×8 などは一時に集中されて 3×6 を下廻ると云ふ様になつた。其内でも 16 と 32 の 3×6 は 15 圓 60 錢と云ふ高値を突張つて居る。厚板は西安に崇られて頭を押へられ伸び兼ねたる有様で弱保合を見せて居る。

大阪市況

丸鋼 兎まれ角まれ世の中は變つた——春らしい光景は彼岸を目睫に控えて一層その兆しが濃厚となつて來た——しかし、これは獨り野と山とばかりではないらしい。財界の全面に對しても所謂インフレといふ花が漸く笑を含んで満山を賑はさんとしてゐる際とて我鐵鋼界に漲る潤いも見逃す事は出來ない。或種の寸法によつて相當まとまつた商内が行はれたとの噂もあり、値どる安で買人の食指もどうやら商機に接近を思はしめるものがほの見える。

6mm 並に 8mm 等の細丸は最近伸鐵品の生産コスト著敷く改善せられし模様にて従つてこれら割安品が頻りに市場を往行するため相場は不伸。9mm は材料關係で伸鐵工場が製作せざる爲め氣配に耽りと云はれてゐる。ベース物は需要期入りと共に商内も本格的になつて來たかの感があり各メーカー共 85 圓以下には賣應せざるため氣配は益々好調を示してゐるようである。中丸は概して未だに不味の域を脱し得ない様である、これは既報の如くアウトサイダーよりの出廻り圓滑なるためと買見送りによる現象と見られてゐる。而し 80mm 以上のものは日鐵品の獨り舞臺の感あり先行期待されてゐる。太丸變らず。

是開きの淀川下の荷船載

角、平鋼 角鋼は一般に 9 圓 3、50 錢にて前旬と大差なきも 44mm 以上のものは日鐵定期もの、荷廻り不順調のところへ伸鐵品の手當皆無とあつて氣配は茲許強含み保合といはれてゐる。平鋼は概して荷廻り順調なるため市中ストック漸増の有様にて従つて市況は凡調裡に推移してゐる。75mm 以上のものは良好なるため相場は 9 圓 6、70 錢見當を唱へられてゐるが何分にも伸鐵品の注入のため商品の妙味は乏しいようである。

型鋼 小形アングルは先旬來幾分見直したようであるが何分にも需要に比し供給が多すぎる所から今一段の飛躍は見られないようである。1/4×1 3/4 及び 4mm×45mm 等は出足の鈍い品ではあるが市中極端なる品掠れのため相場は 11 圓カツチ唱へられてゐる。4mm×50mm は先般相當纏つた商内成立し従つて市中品薄となりたるため相場は 12 圓と異常な高値を唱へられてゐる。中形アングルは概して手堅い成行を示してゐる、即ち目下需要期であるので共販並にアウトサイダーより積出さるゝ品は順次消化され且つ市中在庫も多からざる現状からして目先期待する向きが多い。大形アングルは概して市中ストック少く賣行は相當あるので相場は 12、3 圓見當を唱へられまことに春風駘蕩の感がある。チャンネル並にジョイストも亦建築方面に相當消化されつゝあるので引續き手堅き歩調を辿つてゐる。

鋼板 1、2 中板は外注入荷一巡し需要期入りと共に荷動き良好となり場面は一段と活況を呈するに至つた。就中 32×3×6 は出廻り不圓滑のため市中品掠れを現出し相當高値を唱へられてゐるようである。厚板は共販よりの積出し極度に少く且つアウトサイダーよりの手當もさしてない所から先旬來見直し氣味にあると云はれてゐる。

線材 目下呼値は別表の如く 111 圓であるが實際は 110 圓擲

みに商内成立の模様である。屢報の如く製品界の不伸とアウトサイダー品の脅威のため相場は頭重い。

鐵力板 市中在庫は概して豊富と云はれてゐる。而し乍ら外電は刻々高値を報じ且つ需要期入りと共に地方より引合も相當あるらしく旁々一部間屋筋の策動により相場は先旬來反騰を演じた模様である。

販賣旬報 第7號昭和9年4月2日

日本製鐵株式會社販賣部

4、5月積及5、6月積先物の申込と引受一殺到

受注能力を甘く見たのと、賣行不振ながらも常に堅實な足取りで値鞘を保つて居る大型物は需要期に入るに及んで申込數量は愈々劇増の傾向を示し、3、4月積で2萬8,000 噸を呼んだものが4、5月積では別項の様に3萬3,000 餘噸と云ふ急増を示し、5、6月積に到つては遂に3萬5,000 噸を突破すると云ふ利到振りを示した。東京と大阪では東京は一進一退を辿つて居るが大阪は一路邁進

4、5月積先物申込高

揚地名	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角平	—	—	—	—	—
等	—	—	—	—	—
不	4,598	6,215	—	84	10,897
溝	5,545	6,255	330	319	12,449
工	4,047	5,710	220	167	10,144
合計	14,190	18,180	550	570	33,490

4、5月積先物引受高

工場別	1中	2中	1大	2,3大	4型	合計
角平	—	—	—	—	—	—
等	—	—	—	—	—	—
不	—	—	—	541	173	714
溝	—	—	—	390	—	390
工	—	—	—	761	474	1,235
合計	—	—	—	944	137	1,081
合計	—	—	—	2,636	774	3,420

5、6月積先物申込高

揚地名	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角平	—	—	—	—	—
等	—	—	—	—	—
不	2,120	3,500	20	129	5,769
溝	1,885	2,615	—	145	4,645
工	5,505	7,640	245	414	13,804
合計	4,185	6,650	190	288	11,313
合計	13,695	20,405	655	776	35,531

して5、6月には2萬噸を起ゆる盛況となつた。名古屋迄少數ながらも漸増して5、6月積には655 噸と悪い時の東京位の申込を見ると云ふ現象を呈した。

然し此數字は勿論大勢を示したもので必しも市場でこれだけの數量を必要とするものでないことは勿論である。

品種別では特に取立てゝ顯著な變化はなく全面的増加と見て差支ない。引受は例の通り3,400 噸を動かさないと云ふよりも或は動かせなかつたものかも知れぬが將來は或は此數量に變化があるかも知らぬ。

3、4月積鐵力板の引受—1,000 噸

鐵力板は1,000 噸賣出して1,000 噸引受けると云ふ定規に扱つた方法であるから、此表によつて市場の動向を察知することは困難であるが、未だ外注本位の今日では當社の數量では如何ともすることは出來ず、買手としても賣り出されるだけ買ふに留まる現状であ

るが、何れ近い將來に於て完全に統制されるものであらう。

3、4月積鉄力板申込及引受高

區分	申込高	引受高		
		200lbs	170lbs	計
東大	443	93	355	448
名古	474	94	381	475
其	50	7	42	49
他	28	6	22	28
計	1,000	200	800	1,000

4、5月積珪素鋼板の引受—引受 1,500 噸

漸増するは珪素鋼板である。

2、3年の過去を顧る時は寔に膚に泡を生ずる如き悲惨な状態に置かれた珪素鋼板も重工業の勃興に連れて今日に於ては日一日と需要を増加し、前月も 200 噸増して 1,300 噸賣出したが、今回も再び 200 噸増の 1,500 噸近い申込と引受けとなした。

特に T 級品の増加が目立つて居るのは其消費方面の活況を物語るものと見て差支あるまい。

4月積珪素鋼板申込引受高

品	B 級	C 級	D 級	T 級	計
0.35mm	430	—	160	785	1,375
0.43mm	105	—	—	—	105
0.5mm	—	—	—	—	—
計	535	—	160	785	1,480

4、5月積美裝鋼板の引受—引受 380 噸

4、5月積美裝鋼板申込引受高 (單位噸)

品	白鶯	赤鶯	白鳩	赤鳩	青鳩	計
B.W.G.#22	—	—	—	—	—	—
〃 #20	1	3	—	—	—	4
〃 #19	—	—	—	—	—	—
〃 #18	8	—	—	—	—	8
〃 #17	—	—	10	—	—	10
1.6mm	10	—	70	—	—	80
2	15	—	—	—	—	15
2.3	30	—	5	—	—	35
3.2	19	3	137	—	70	229
計	83	6	222	—	70	381

前月の引受減によつて積出しも大部緩和される見込みが付いたので今月からは常態に還つて 400 噸程度の賣出しを發表したが申込は別表の通り 381 噸となつた。

期待された青鳩が思ふ程出ないのは丁度需要季節も過ぎた事と寸法が 3.3 に限られて居る事や賣出早々で一般に知られて居らない等の關係によるものと想像されるが、將來は當然増加するものと思はれる。鶯印が僅少なのは品質關係で賣行が止まり東西共に多量のストックを擁してゐることが主因で、其反動として白鳩が増加したものと考へられる。

4、5月積鉄力板賣出協議會—値上げ

月日場所 3月26日 東京日鐵販賣部

出席者 4社、東西問屋及日鐵

議事 4、5月積鉄力板先物賣出に關する件

1) 値段 外注値段は最近に到り昂騰氣勢を示し別項の通り佛國品を除きては前月に比し皆採算高となり、一方市場の狀勢は東京にては在庫 2、3 萬箱内製品は 1,500—1,600 と甚だしく僅少ななるに反し大阪は手持 5、6 萬中製品が 170 封度物のみにても 2 萬程度を唱へられ東西均衡を失しある状態なり、又需要は已に其季節に入りたるに不尠比較的振はず加之過去に於ける安値の外注物が未だ相當彷徨しある爲め市況の進展も意の如くならず、東京相場は 100

封度 14 圓 3、50 錢 170 封度 26 圓 80 錢より 27 圓丁度を唱ふるに過ぎず、只大阪方面は是より若干上鞘を示す程度である。

然し目先としては前述の外注物も漸次消化されつゝあるのみならず、外注高の爲め將來の手當は殆んど影を潜め目を逐ふて品掠れの微ありて前途に對し相當強固なる希望を繋いで居る。

此状態より推して今月の値段は大體外注の値上りたる 30 錢程度の値上げを希望したきも前述の通り前途の囑望を加味して思ひ切り 50 錢値上げとされたしと云ふ買手希望があつた。

日鐵としては買手の希望もさる事ながら外注を基準とすれば 170 封度を 60 錢上げの 200 封度を 40 錢上げが 妥當なる可しと提案し結局次記の通り決定した。

170 封度 26 圓 60 錢 (60 錢上げ)

200 封度 28 圓 40 錢 (40 錢上げ)

2) 積遅れに就て 最近積遅れが漸次増加しつゝあるを以て此際成るべく早く積出を恢復されたし。之に對し日鐵は現在 1 ヶ月半位の積遅れなるも一層積出しに努むべしと云ふ回答があつた。

3) 發表値段 問屋としては裸値段を發表せらるゝ事は取引上支障あるを以て 4 社口錢を内口錢として發表せられたし。

日鐵としては内口錢に就ては日鐵として口錢問題に干渉することとなれば慎重に考慮すべき問題と思はるゝを以て今暫く現在のまゝとせられたし。

4) 2 級品の値引 前月 2% より 3% 引とされ喜び居るも外注に照らす時は未だ苦痛を感じるを以て將來に於て値引率の増加を考慮されたし。

日鐵にては此問題は前月にて結末を附けたるものと考ふ。

5) 數量 前月と同様 1,000 噸程度の賣出しとした。割合其他従前通り。

Quotation for Tin Plate, April/May Ship't

American	170 lbs.	200 lbs.
Cif price	\$ 8.00	\$ 8.35
Exchange (\$ 0.00)	¥ 25.67	¥ 27.84
Interest (1%)	.27	.28
Duty	1.22	1.44
Charge	.12	.15
	¥ 28.28	¥ 29.71
German	170 lbs.	200 lbs.
Cif price	£ 1-12-6	£ 1-14-3
Exchange (1/2-1/2)	¥ 27.62	¥ 29.10
Interest (1.3%)	.36	.38
Duty	1.22	1.44
Charges	.12	.15
	¥ 29.32	¥ 31.07
French	169 lbs.	200 lbs.
Cif price	Frs. 115.60	Frs. 123.60
Exchange (Frs. 4.55)	¥ 25.41	¥ 27.17
Interest (1.3%)	.33	.36
Duty	1.22	1.44
Charge	.12	.15
	¥ 27.08	¥ 29.12

4、5月積精線會賣出協議會

月日場所 3月27日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、日鐵、岩井、安宅及日商

議事 4、5月積特殊線材賣出に關する件

1) 買手要望 外注は先月と大體に於て變らず、内地も特に市場もなく特殊の需要を充しつゝあるを以て特に變化せることは認められざるも低炭素と太番は品質の關係及び他社製品の壓迫等に基因し賣

行不振のものあるを以て値段に就き考慮されたし。

猶 2 級品に就きて先月の懸案を解決されたし。

2、賣手提案 精練會の低炭素、熔接は現在にては低炭素にて熔接とするは其質を異にするものもあるを以て低炭素、熔接中の熔接を削除し單に低炭素とし熔接線材は何れ工場と打合せの上出來得れば改めて製作することとした。

太番も今回より神戸と日鐵にて寸法別にて受注することとした。

即ち神戸は 9.5mm 日鐵は 6. 7. 8. 9. 中 1、2 寸法に取纏めること。2 級は他の定期問題もあれば一概に買手希望通りとすることも困難なる事情があれば暫定的に各契約に 1 割内外の 2 級を附すること、但し 2 級は 1 社にて取扱ふこととした。

Special Wire Rods

April Shipment.

	High Carbon	Copper Bearing	Wood Screws
	\$ 36-	£ 6-6-0	£ 6-17-3
Exch 30 <sup>1</sup> / <sub>16</sub>	¥ 119.75	¥ 106.81	¥ 116.34
Int. 1%	1.19	1.39	1.51
Charges	0.90	0.90	0.90
Duty	22.01	22.01	22.01
	¥ 143.85	¥ 131.11	¥ 140.76
Per 1,000 kgs.	¥ 141.58	¥ 129.04	¥ 138.54
	Welding	Low Carbon	Thick Gauge.
	£ 6-2-0	£ 6-2-6	£ 6-5-0
Ex. 1/2-5/32	103.42	¥ 103.84	¥ 105.96
Int. 1.3%	1.34	1.35	1.38
Charges	0.90	0.90	0.90
Duty	22.01	22.01	22.01
	¥ 127.67	¥ 128.10	¥ 130.25
Per 1,000 kgs.	¥ 125.66	¥ 126.08	¥ 128.20
	Telegraphic		
	£ 3-8-0		
Ex. 1/2-5/32	108.50		
Int. 1.3%	1.41		
Charges	0.90		
Duty	22.01		
	¥ 132.82		
Per 1,000 kgs.	¥ 130.72		

5、6 月積小型山形鋼の締切—申込 1,600 吨

一般鋼材が陽春の候を迎えて漸く活躍期に入ると共に、一時過剰した小山も少しづつ芽を吹き出し、先月 200 吨足らずまで惨落した釜石サイズも 400 吨近い申込みを見ると同時に八幡物も、1,000 吨を超える盛況を呈した。

伸鐵だアウトサイダーだ等の掛聲も一寸した好轉を見れば急に影を消すことは寔に現金である。

地方別に見ても敏感な大阪が先月の 450 吨が俄然 750 吨に劇増した事が著しく目に着く。

引受は八幡は例の通り 600 吨、釜石は鶯呑みにした関係で前月より 200 吨許り増加した。

5、6 月積小型山形鋼申込高及引受高

區別 向地	申込高			引受高		
	釜石	八幡	計	釜石	八幡	計
東大 名其 古 計	京	90	535	90	240	330
	阪	225	520	225	300	525
	古	33	87	33	41	74
	屋	37	27	37	19	56
	他					
計	385	1,219	1,604	385	600	985

3、4 月積線材の割當—7,500 吨

前回は 7,000 吨の賣出しでも未だ喰い足りない程の市況であつたものが 3、4 月積の賣出當時には八幡の積遅れ恢復による入荷と製品が思ふ程動かなかつた爲め買氣も一寸頭を叩かれた形であつたがそれでも内地輸出合して 7,500 吨を消化するには大した努力も必要とも思はれなかつた。

3、4 月積線材申込及引受高

區別 向先	申込高			計引受高		
	神戸	日鐵	計	神戸	日鐵	計
内地 向	東	—	—	704	1,024	1,728
	京	—	—	2,261	791	3,052
	阪	—	—	35	185	220
	古	—	—	—	—	—
	其	—	—	—	—	—
計	—	—	—	3,000	2,000	5,000
輸出向	—	—	—	1,500	1,000	2,500

5、6 月積厚板共販賣出理事會—据置

月日場所 3 月 22 日 東京日鐵本社

出席者 川崎、淺野、東海、日鐵

議事 1) 組合繼續に關する件

組合の今期存續期限は來る 3 月 31 日を以て終了するに就き先づ其の繼續に關し協議する事となつたが、元來組合の存續其の事に關しては異議ある可き筈無きを以て原則として全員一致存續を希望したるも日鐵は成立に伴ひ種々環境に變化を生じたるに依り生産割當の比率等に關し今後或は改訂を希望するに至るやも知れざるを以て内規の改廢に關する確たる取決めは後日に残すとして 3 月 31 日後 6 ヶ月間厚板共販組合を存續すると云ふ根本方針の決定を見た。

2) 5、6 月積厚板賣出に關する件

イ、値段 外注は河岸着に於て 1 圓 40 錢方の値上りとなり、市況も氣配稍好調と見らるゝも現在定尺の賣出値段は 118 圓なるを以て Cif. を 1 志 2 片 5/32 にて換算したる裸値段と殆ど變らず市況も好調とは云ひ條 2 級品、プレートカツチング、アウトサイダー等の脅威に得てして伸鐵の此處數句來釘付状態なるを以て環境は上げ下げならぬ状態にあり、旁々會議に先ち同様の意味よりして 4 社よりも据置の希望が傳へられてゐるので前回同様次記の通りに決定した。

記 耳付 110 圓(据置) 定尺 118 圓(ク)

其他の條件も總て前月通り。

ロ、數量 前月同様 3,000 吨程度の賣出しとし成る可く買手の希望に副ふ事とした。

ハ、締切 3 月 26 日

3) 2 級品に關する件 最近厚板の需要増加に連れて 2 級品の發生も多くなり各社相當の在庫あるを以て之れが 2 級品自體の軟弱材料たるは勿論であるが引て厚板市況の重壓ともなつてゐるので其の處置に關して協議した結果近々川崎、淺野、日鐵 3 社の 2 級品 1,000 吨以上を平爐に入れて處分、今後も必要に應じて適宜同様の方法を探り市場を善導する事となつた。

外注値段

3 月 22 日	
Cif.	£ 7-0-0
Exchange 1/2-5/32	¥ 118.67
Duty	25.06
Charge	2.50
Total	¥ 146.23
Kilo Ton.	143.92

4、5 月積線材共販賣出理事會—据置

月日場所 3 月 27 日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、日鐵及 5 社

議 事 4、5 月積線材賣出に關する件

1、買手希望 製品は不振状態で針金で 130 圓撈みを唱へ、只釘が東京では若干賤りで 8 圓 40 錢程度なるも數量的に見て主力の針金が軟弱なる爲め不勢と見られ、一方線材は兩社の積出恢復迅速にて製品の賣行不振と相俟つて在庫豊富となり特に問屋を有せざる東京にては強弱は直ちに工場に影響する關係もあり一部にては賣止め希望もあるも、大阪は東京と稍趣きを異にして値段は兎に角相當買氣も潜在し結局數量的に内地向を減じて之れを輸出に向け値段は据置きとせられたしとの買手希望があつた。

猶外注値段としてはシンデケートも建値不變にて近來は殆んど共販建値の參考に止まる觀ある様になつた。

買手 要 望

1) 値 段 据 置 2) 數 量 内地 4,000 噸 輸出 3,500 噸  
2、理事會 理事會に於ては、輸出向其他に就て種々協議ありたるも今月は一應買手希望を容れ只數量を 内地向 4,500 噸、輸出向 3,000 噸と云ふことを買手に提案した。然し買手は之に對し値下げ希望を押えての申出でなければ數量は買手希望通り願度しとの事であつたが、大阪にはポンド物 2、3,000 噸を有し猶アウトサイダーの輸出向を若干加味すれば理事會の提案數量にて決して不足を感じる虞なきものと思はるゝを以て理事會の提案通りにされたし。

2、決定事項

(イ) 値 段 内地 112 圓(据置) 輸出 98 圓(ク)  
(ロ) 數 量

	神 戸	日 鐵	計
内地	2,700 噸	1,800 噸	4,500 噸
輸出	1,800 噸	1,200 噸	3,000 噸
計	4,500 噸	3,000 噸	7,500 噸

3、締切 例により共販に委せられて直ちに割當つることとした。

Wire Rods

£ 6-0-0

Exch. 1/2-3/4 101.72  
Interest 1.3% 1.33  
Landing Charge .90

¥ 103.94

In bond ¥ 102.30 Per 1,000 Kgs. in bond.

Duty 21.66

¥ 123.96 Per 1,000 Kgs.

5、6 月積厚板共販賣出理事會—申込 9,600 噸

月日場所 3 月 27 日 東京日鐵本社

出席者 淺野及日鐵

議 事 5、6 月積厚板の申込及引受

申込數量は前月と殆ど變らず 9,600 噸であつた。

此の數量が實際の希望の反映であるか何うかは云ふだけ野暮であるが兎に角メーカーが 2 級品を還元すると云ふし滿洲からの引合と特殊需要は種々な角度に於て市場に響いてをり、アウトサイダーの進出も此處へ來て愈々山が見へたので市況は稍々上向き先行も樂觀されてゐる爲め前月と大差の無い此の程度の申込は餘り嚴格に解さず過去の習性を顧みれば環境を無視したとも云へず相當程度を遠く出てをらないと見られるのではあるまいか。

引受は前月減少した大阪揚の◎物丈けが今月復活して 3、4 月積と同程度の 3,600 噸を引受くる事となつた。

5、6 月積厚板申込及引受高

區 別	東 京	大 阪	名 古 屋	其 他	計
向 先					
申 込 高	川 崎	495	—	20	515
	淺 野	1,430	—	—	1,430
	東 海	280	176	—	456
	日 鐵	1,548	2,082	40	3,994
	無 指 定	1,270	1,730	—	3,235
計	4,528	4,483	40	579	9,630
引 受 高	耳 付			3,225	3,225
	尺 板			400	400
	計			3,625	3,625

關 東 鋼 材 第 312 回 理 事 會—不 取 敢 据 置

月日場所 3 月 22 日 東京丸ビル

出席者 日鐵、鋼管、吾嬌、三井、三菱、岩井、富士鋼材

議 事 1、東京丸鋼組合の組織變更に關する經過  
會議に先ち指定商側より表題に關し次の報告があつた。

過日間屋側と懇談の際問屋側より次の 3 案の提示ありて其何れを採るか改めて協議すべしと云ふこととなつた。

- 1、現在の儘の機構を繼續する案
- 2、購買、販賣共會社にて行ふ案
- 3、購買を現在の儘の組合にて行ひ販賣のみ會社とする案

越えて 19 日に到り問屋側は種々考究の結果第 3 案たる販賣のみ會社にて行ふと云ふことに決定した旨の通告あり、即ち對共販の關係は従前と異なることなく只販賣のみ組合員にて組織した會社にて行ふことになつた模様である。

理事會としては承り置くと云ふこととし何れ次の機會に於て意見あれば發表することとした。

2、引合高 先週あたりより特に顯著となつた申込の増加は今週に入つてから愈本腰となり東京名古屋を合して引合高 8,000 噸に近いと云ふ劇増を見るに到つた。猶 19 日より中島鋼管の作業休止により愈々硬化を辿るものゝ如く 22 日に於ては東京市場 88 圓、大阪 89 圓と 1 昨日より 1 圓高を傳へられる迄となつた。

尙引受は約 4,000 噸とした。

3、値 段 外注値段は俄然 5—7—0 を報じ 1 志 2 片<sup>1/2</sup>にて換算して 116 圓 59 錢となりたるが、其原因として 4 月 1 日より

4 志 3 片の運賃値下げの噂もあるやにて其が響いたにあらずやとも思はるゝが兎に角若干は軟化した様考へらるゝも一方内地の市況は品薄や需要擡頭に加へて中島鋼管の休止問題もありて先行樂觀なるを以て、此際市場を刺戟する意味より若干値上げしたき希望なるも聯合會も目前に控へ居るを以て今日まで提出の分は従前の値段にて引合ひ爾後指値を見合せることとした。

關 東 鋼 材 第 313 回 理 事 會—申 込 4 萬 噸

月日場所 3 月 29 日 東京丸ノ内ビルディング

出席者 鋼管、吾嬌、日鐵、三井、三菱、岩井、富士鋼材

議 事

1、引 合 前週も前々週も申込 8,000 噸臺で過去の實績から見て其躍進振りに驚嘆して居たものであるが、今回は斯る申込とは全く格段の相違を見せし勿論若干の重複はあるとしても遂に 3 萬 9,987 噸と近來の新記録を示すに至つた。其原因として考へられるものは概念では永い間の不況の反動と見るべきであるが、特に斯る非常識にも近い巨多の數量の申込を見たことと云ふことは、前にも書いた様に鋼材聯合會、關東鋼材等の共販組織が日鐵の出現の際或は破壊せらるゝのではないかと疑念が最近に至つて全く解消した事や、

東京の丸鋼商會の組成に依つて統制の見込確實となつたのみならず時時需要期を眼前に控えて中島鋼管が作業を中止したるなどが数へられる、然しそれにも増して此趨勢を刺戟したのは市場が漸次恢復するに従つて關東鋼材として當然値上げの機運にあるものと察して問屋は勿論實需家も日和見態度を捨て、今迄飲んで居たものを急に吐き出し初めての申込殺到と見るが至當であらう、然しそれにして餘りの急増には啞然たる有様である。猶大阪方面 3 社べも 1 萬 5,000 噸の申込があつた。

参考迄に關東鋼材に於ける過去の賣約高を見れば如何に今回の申込が破天荒のものであるかと窺はれよう。

即ち關東鋼材の契約數量は次の通りである。

8年11月	〃	12月	9年1月	〃	2月	〃	3月
465 噸		2,405 噸	2,283 噸		33 噸		20,202 噸

大阪よりの受注

換言すれば 12、1、2 月は東京にては全然零と云ふことが出来るのに 3 月に至つて俄然 2 萬噸と掌を返したのである。

2、値段と數量 外注は 5-8-0 で  $\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{8}$  換算して 117 圓 43 錢と共販値段とは凡そ懸け隔てたものを唱へられ、殆んど参考にもならぬものとなつて居る、市中は其後一步々々堅實なものとし東京にて 88 圓、大阪にて 89 圓、大阪に先行益々好望を傳へられて居るが假りに此申込數量を鵜呑みにすれば市況が繼轉すると云ふ事は過去の歴史から見て火を觀るより明かであるから組合にても此際自重して減食療法をなすと云ふことに意見の一致を見結局 3 都にて大體 1 萬噸程度の引受と云ふこととなつた。

値段は鋼材聯合會に於ける打合せ通り今回は据置きと云ふこととなつた。

### 東西市況一ザリ高

先年來供給量は確に激増してゐる筈である。そして其の多い品物が兎に角消化されてゐるので、大局から見れば荷物は動き、賣買は盛に行はれてゐるのであるが、それに平行して市場には決して取引が増加してをらずむしろ商内は少く地方メーカーからの入荷も不順調で市中在庫は多くないとの事である。

その因つて来る原因先行の見透し等に對する論議は措いて現實の現象として市場は此の變態的狀態と相關連して一進一退してゐる品薄に依つて保ち荷動の沈滞に依つて伸びずと云ふのが相當長い間の市況である。

此の需給のバランスに變化が起る時良かれ悪しかれ市況は搖り動くので、それを繞つて硬軟、樂悲の觀察が微妙に下されてゐるが現在は未だ波亂含みの時でなく、只多少目先強弱の材料に依つて小起伏を畫くが依然前記の如き此處數ヶ月來の市況の繼續と見られてゐる。

今旬は丸鋼商會の成立中島鋼管の没落メーカーの強腰、現實市中在庫の僅少確認等矢張變態的供給關係と人為策で需要方面からの影響ではないが目先好材料が重つたので丸鋼が堅調を特續し連れて全般にジリ高市況と云はれてゐる。

### 東京市況

丸鋼 6mm、7.5mm は材料高の爲め東京着 9 圓、従つて成行 9 圓 40 錢カツチリを唱へられ 9mm 12mm も採算上伸鐵よりの積出減少したるとベースの堅調を映してザリ高。ベース丸は需要の擡頭と云ふ力強い原因に依るのではないが、人為策と供給關係とに依る目先好材料が重つたので、好調を續け共販の賣出値段と組合の申合せ價格とを上廻つて 88 圓カツチリで取引されると云はれて

ゐる中丸も速成品出廻らず日鐵の引受も極限されてゐるので、太丸と共に商内ボツボツの程度ながら相場は前値を堅持して下らず小腕りを傳へられてゐる。

角、平鋼 角、丸鋼に引摺られて好調ながら從來品控に依り上放れてゐた物は、伸鐵よりの入荷が多少行き渡つて値頃は平均されつゝある 65mm 以上は伸鐵作らず大阪からも入用買があつたので依然として高値を唱へられ、11 圓 80 錢乃至 12 圓 2、50 錢と光つてゐる。平鋼日鐵品は使用方面に依つては、日鐵と指定する向が多いので伸鐵品との間に 3、40 錢方の開きがあるが、概して入荷ボツボツと散見される處から總じて一頃の人気高は影を消して、平鋼本然の姿に落ちつき始めた處なので丸鋼の好調を積極的に感應して跳ね上げる時ではなく、比較的平凡裡に保合と云はれてゐる。

型鋼 小山形は日鐵の賣出數量の手加減が利き、加ふるに伸鐵が材料高で二の足を踏むやうになつた處へ 3×40 の如く入用買あつて、11 圓 3、50 錢と上放れてゐるものもあるので一般に引締りベースは大阪方面より入荷ありしも安物無く、旁々メーカーよりの出廻り依然として不順調なる爲め、相場は數旬來の傾向同様共販の賣出値段より適當 10 圓以上も上廻り、丸鋼とは飛び離れた値開きを示してゐる高値維持の、強調と見られ、大型物は引續き品控に賣惜まれてをり、長きに依つては品皆無にて強調ながら入用止まざりし爲め、尙ほ一段の伸力に缺けてゐる。不等邊 50×75 は鑄付の 9 圓 50 錢から、上等物 11 圓、大阪までに取りまされて値段が區々なので、中値を探つて 10 圓 50 錢としたが、不等邊全般を通じて鋼管、日鐵品共に在庫少く、堅調持續ながら之れ復荷動少き爲め、相場は手堅き含みの保合程度と云はれてゐる。溝形 5×50×100 は入荷は有つたが先高見越に買集める筋もあるとかで賣物無く、従つて相場は保合、6×65×125 は入荷一段落の折柄、かき集めて手放さない向があるので、相場は 2、30 錢方上向き、8×80×230、8.5×90×230、9×90×250 等は品切に、搦て加はへて壓延豫定も見越されて 14 圓見當を唱へられるに至つた。

工形も 10×125×250 が入荷あつて小甘い商況を呈してゐる以外は 100×200 の如く、市中在庫多き物も他との權衡と先行期待に引摺られ前値を保つ状態なので、概して堅調に就中 150×350、175×450 は在庫皆無に大阪を標準として、唱値は 14 圓以上と見られてゐる。

鋼板 中板は 3.2×4×8 4.5×4×8 の如く、比較的在庫多くして押したる物を煽つて買策動も試みられたが、保税物あり旁アウトサイダーの懸念もあるので、踊り出すまでには至らず 3×6 物の堅調に連れて手持少き物のみ多少の反撥を見せたる他は、強含み保合と云はれてゐる。

厚板 6mm は大阪の實需に引かれて在庫減少し、成行 3×6 14 圓 40 錢 4×8、5×10 14 圓 20 錢とまで唱へられるに至り堅調依然。9mm 以上は荷動少く在庫も相當に有る處から、相場は 12 圓 50 錢見當に釘附ながら厚板共販の 2 級品還元報もあるので、先行にいきゝか期待がかけられるやうになつたと云はれてゐる。

### 大阪市況

丸鋼 小鮎のように潑刺な子供が、4 月 1 日あこがれの校門をくゞつて、尋常一年生としてはじめて習ふ國語に……サイタ、サイタ、サクラがサイタ……とあるが、我鐵鋼界へも各方面から花が咲き初めたといふニュースが頻りに傳はつて来る。然して各メーカー共この嬉しい陽氣な便りに有頂天にならぬよう。足元を引締めて居るので市場では益々好感を以て迎へられ、地方よりの需要擡頭と共に場面はいよいよ緊張味を加へて來たようである。

6mm、8mmはベース物の硬化につれて幾分氣を持つてゐるが、何分にも伸鐵品の脅威あり、かたがた市中在庫も相當ある様子で、従つて相場も先旬來小巾ながら 20 錢擲みの値上りを示してゐる。9mm 及び 12mm は當社品、他社品其他伸鐵品共に先般來建築方面に大量消化されしため、氣配は茲許強調と云はれて居る。ベース物も亦引合旺盛にて、相場は先般來一齊に 9 圓臺据えとなつた模様である。中丸 50mm-65mm はアウトサイダーよりの出廻り良好なる爲め、商内の妙味に乏しいといはれてゐる。それ以上の中丸は當社品の獨占市場の觀ありて、まことに異彩を放つて居る。太丸は特種なる實需筋に順次消化され底堅き成行きを示し、時節柄注目されて居る。

明日思ふ身は疾く歸る花見哉

**角、平鋼** 角鋼細物は相變らず伸鐵品に押され勝ちと云はれてゐる。44mm 以上のものは伸鐵屋は材料關係にて製作せざる所から、相場はカツチリしてゐる。65mm 以上の角鋼は生産コストは相當高いが、賣行良好なる所から氣配は稔りと云はれてゐる。平鋼は丸鋼ベースの堅調に連れて硬化氣構へとなり、相場は先旬來 1、30 錢方反撥。

**型鋼** 小形アングル 3×40 は引續き伸鐵品の入荷少なからざるも最近大量荷動きあり、従つて相場は 11 圓と光つてゐる、4×45 は賣行き良好なるためと手當薄のために、相場は 11 圓 50 錢を唱へられ期待されてゐる。中形アングルは需要期入りと共に荷動き旺盛となり、従つて相場も當然 11 圓位までに伸びねばならぬやうであるが、何分にもアウトサイダーよりの無統制的太量賣出しのた

め、別表の如く 10 圓 30 錢擲みに取引されてゐるようである。4×50 並に 6×50等の需給のバランスがとれてゐるので、市況はまことに明朝そのものゝようである。大形アングルは相も變らず品掠れにて堅調を持続。チャンネル並にジョイストも亦大形アングルと同様の市況を呈してゐるが、只ジョイスト 150×400 及び 175×450 等は品切れとあつて、相場も 14、15 圓と、まことに法外な高値を唱へられてゐる。繊維工業の發展による工場擴張のため、この方面に型鋼が相當消費されてゐるようである。

**鋼板** 函館の大火により、平浪原板は暴騰するであらうと一般に豫想されてゐたが、事實はこの豫想を裏切つて、概して平靜を保つてゐるようであるが、商業道徳から見ると又は人道から見ると、まことに結構なことであらう。3.2×3×6 は別表の如く目立つて高い。これは從來各間屋共 3'×6' に對しては餘り期待して居らず、従つて手が少い所へ、先般需要が一時擡頭したため反動高を示し却つて行きすぎの觀あり。其他のサイズは賣行は香しからざる所へ、アウトサイダーよりの積出し順調なる爲め相場は頭重い。厚板は賣行は普通であるが、何分にもアウトサイダー品に押されて、氣配は鈍重保合である。

**線材** 昨今製品の賣行き拂しからざる所へ、最近共販の積遅れ品の入荷一時に殺到したため、相場は引續きジリ貧歩調を辿り、目先きも依然樂觀は禁物とされてゐる。

**鍍力板** 既報の如く外注高に加へて、仕手關係も手傳つて相場は強保合である。筈の繼詰期も接近して來たので、この方面よりの需要を期待する向きがかなりある。

昭和 9 年 2 月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

區分	品種	神戶	大阪	横濱	2月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等不溝工鋼	鋼	223	435	268	926	534	1,460	683
	鋼	28	81	13	122	33	155	326
	鋼	98	73	115	286	149	435	570
	山形	2	460	75	537	437	974	108
	山形	—	102	2	104	732	836	—
	形	—	914	45	959	787	1,746	468
	板(0.7mm超)	—	235	—	235	128	363	19
	板(0.7mm以下)	147	1,979	835	2,961	3,595	6,556	6,407
	鋼	—	—	—	—	—	—	154
	鋼	906	3,696	1,133	5,735	6,162	11,897	9,911
	鋼	—	261	38	299	385	684	128
	鋼	138	1,484	1,504	3,126	744	3,870	2,391
	鋼	333	—	—	333	22	355	333
鋼	力條材	1	343	554	898	1,116	2,014	648
	管	795	13,29	1,958	4,082	4,764	8,846	5,280
	管	228	22	29	279	217	496	547
	其他	262	410	425	1,062	1,340	2,402	1,366
計	3,161	11,824	6,994	21,979	21,145	43,124	29,339	
硫石ナク	炭	4,217	—	7,933	12,150	8,846	20,996	10,400
	タ	—	—	—	—	40	40	15
	リ	—	114	150	264	316	580	1,126
	ン	61	—	69	130	110	240	110

東京大阪市中相場

(大阪 3月6日 中 3月15日 下 3月26日 東京 3月8日 中 3月19日 下 3月28日)

Table of steel prices in Tokyo and Osaka, categorized by size (寸法) and type (e.g., 溝形鋼, 工形鋼, 薄鋼板). Includes columns for 3 months ago, 3 months ago middle, and 3 months ago end.

Table of steel prices in Tokyo, Osaka, and Kyoto, categorized by size (寸法) and type (e.g., 溝形鋼, 工形鋼, 薄鋼板). Includes columns for 3 months ago, 3 months ago middle, and 3 months ago end.

備考 単位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は吨當り。鉄力板は1箱當り。

昭和9年3月上、中、下、旬各種輸入速報

2月28日~3月7日 (3月上旬) 3月8日~3月17日 (3月中旬) 3月18日~3月27日 (3月下旬)

Table of monthly import statistics for various steel products (薄板, 鉄力板, 線材, 中板, 厚板, 中山等邊) across different regions (神戸, 大阪, 横濱) and a total column.

昭和9年2月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		造船材料		2½	24	100	34	<b>鋼板の部</b>		電氣鐵板		線材計 3,127	
丸鋼		7/8"	1	2½	40	130	50	鋼板(0.7mm超)		0.50mm	81		
7/32"	1	1¼"	3	2¾	8	150	171	1/16"	353	1.0	20		
1/4"	1	1¾"	1	3	36	200	91	3/32"	220	0.014"	5		
9/32"	2	2"	1	3½	62	其他	149	1/8"	68	計	106		
5/16"	3	2¼"	1	3¾	298	計	536	3/16"	100			<b>鋼管の部</b>	
1/2"	1	3"	2	4	98	造船材料		7/16"	3			鋼管	
3/8"	1	3¼"	2	5	5	50mm	2	1/2"	1			1"	84
15/32"	2	計	11	3½	25	計	2	¾"	7			1¼"	45
1/2"	2	丸鋼計	764	3¾	10	等山計	538	5/8"	2			1½"	55
19/32"	2			3½	155	不等邊山形鋼		¾"	16			2"	82
19/32"	2			3¾	10	mm mm		5/8"	15			2¼"	3
5/8"	1	角鋼		4	16	50×25	1	計	329			2¾"	11
11/16"	1	¼"	20	4½	16	60×30	1					3"	3
3/4"	13	3/8"	3	4¾	5	150×100	102					3¼"	29
2¾"	1	½"	6	5	13	計	104					3½"	46
2¾"	2	5/8"	8	5½	35	溝形鋼						4"	11
7/32"	2	¾"	2	5¾	21	5"×2½"	72					4½"	139
7/16"	17	¾"	3	5¾	38	6×2½"	57					5¼"	2
15/16"	4	1¼"	3	5¾	38	6×3	476					5½"	103
1"	7	1½"	4	5¾	21	9×3	23					5¾"	24
1¼"	8	1¾"	11	5¾	10	10×3½	32					6"	35
1½"	105	2"	18	5¾	1	12×3½	100					6¾"	23
1¾"	2	2½"	12	5¾	1	12×8½	45					7"	5
1¾"	32	3"	11	5¾	80	mm mm						8"	13
1½"	15	3½"	8	5¾	200	90×36	59					12"	17
1¾"	2	計	121	5¾	82	220×80	19					13¾"	57
1¾"	6	平鋼		5¾	76	240×85	8					56mm	1
2"	6	¾"	1	5¾	77	300×100	28					63.5	20
2½"	2	1/2"	2	5¾	79	其他	35					75	78
2¾"	41	3/8"	2	5¾	80	計	959					80	77
2¾"	3	½"	5	5¾	91	工形鋼						Pipe fitting	1
3"	9	5/8"	21	5¾	92	3"×3"	20					其他	89
3¼"	3	¾"	14	5¾	96	12×5	61					<b>鋼管計 1,053</b>	
3½"	6	1¼"	11	5¾	97	12×5	61					<b>其他鋼材の部</b>	
3¾"	1	1½"	22	5¾	98	mm mm						特殊鋼	
4"	6	1¾"	11	5¾	100	150×70	152					丸鋼 236	
4¼"	2	2"	11	5¾	104	其他	1					鋼鋼板 69	
4½"	3	2¼"	1	5¾	110	計	234					鋼鋼板 84	
5"	3	2½"	9	5¾	125	丁形鋼						其他 4	
5½"	6	3"	23	5¾	135	1½"×1½"	20					計 415	
6"	4	3½"	2	5¾	150	2×2	30					<b>其他鋼材計 415</b>	
6½"	1	3¾"	1	5¾	177	2½×2½	46					<b>鋼材計 21,964</b>	
7"	2	計	121	5¾	190	計	96					<b>鋼片・鋼塊</b>	
7½"	1	26mm	1	5¾	571	球山形鋼						シ-ト- 715	
8"	1	34	1	5¾	4,078	寸法不明	78					フ-ロ-ク-ム 15	
9"	54	70	1	5¾	計	78	鋼矢板					ブル-ム 188	
9½"	11	フ-ブ		5¾	六角鋼	計	333					ビ-レ-ツ-ト 2,164	
9¾"	11	3/8"	1	5¾	八角鋼	計	14					ス-ラ-ブ 1,269	
10	97	½"	18	5¾	計	52	鋼鋼板					ケ-ツ-ゲ 10	
8.1mm	3	5/8"	94	5¾	棒鋼計	5,597	鋼板						
9.63	2	¾"	135	5¾	型鋼の部	形鋼計	2,342						
12	2	¾"	74	5¾	等邊山形鋼	條鋼計	7,939						
14	2	1¼"	16	5¾	5m	41	鋼板						
17	1	1½"	147	5¾	計	2,957	超						
70	52	1¾"	21	5¾	計	100	鋼板						
95	76	2"	260	5¾	計	100	鋼板						
230	5	2¼"	27	5¾	計	100	鋼板						
260	27	2½"	11	5¾	計	100	鋼板						
其他	26	計	753	5¾	計	100	鋼板						



## 昭和9年2月中八幡製所品品種別場地別發送高

(單位噸)

分類		內地												輸出向			合計	
		阪神		京濱		名古屋		其他		八幡製鐵		計			滿洲	支那		計
品名	寸法	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計				
		厚鋼板	6mm以上	39	3,240	1,695	1,322	3	95	2,283	376	1	111	4,021	5,144	9,165	186	—
中鋼板	1mm-6mm未滿	52	1,314	252	1,251	20	260	212	99	—	89	536	3,013	3,549	—	—	—	3,549
薄鋼板	1mm未滿	—	1,439	—	700	—	—	2	—	—	50	2	2,189	2,191	—	—	—	2,191
特殊鋼板	1 括	10	182	—	171	—	—	—	—	—	18	10	371	381	—	—	—	381
珪素鋼板	"	—	8	—	1,016	—	2	7	51	—	21	7	1,098	1,105	—	—	—	1,105
鍍力板	"	—	515	50	923	—	14	81	6	—	208	131	1,666	1,797	3	—	3	1,800
大形丸鋼	100mm超	—	266	47	133	2	3	19	—	—	5	68	407	475	—	—	—	475
中形丸鋼	36mm超	29	960	21	409	9	172	71	17	—	46	130	1,604	1,734	—	—	—	1,734
小形丸鋼	36mm以下	—	749	21	1,163	7	392	27	87	—	360	55	2,751	2,806	221	—	221	3,027
大形角鋼	100mm超	—	17	10	—	13	5	4	—	—	—	27	22	49	—	—	—	49
中形角鋼	36mm超	—	572	22	470	—	118	12	—	—	27	34	1,187	1,221	—	—	—	1,221
小形角鋼	36mm以下	—	514	1	264	1	11	1	5	—	11	3	909	912	—	—	—	912
中形平鋼	幅55mm超	—	437	87	482	1	29	66	11	—	24	154	983	1,137	—	—	—	1,137
小形平鋼	幅55mm以下	—	263	1	243	1	44	—	20	—	4	2	574	576	—	—	—	576
特殊形棒鋼	半丸、6角角	—	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	23	—	—	—	23
スケルプ	1 括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大形山形鋼	等邊不等邊片100mm超	663	1,219	177	554	—	5	233	475	—	—	1,073	2,313	3,386	—	—	—	3,386
中形山形鋼	" 50mm超	3	267	79	171	—	142	171	32	—	14	253	626	879	—	—	—	879
小形山形鋼	" 50'以下	3	234	16	151	2	39	15	14	—	127	36	565	601	—	—	—	601
溝形鋼	1 括	64	1,257	85	848	—	66	184	36	—	11	333	2,218	2,551	—	—	—	2,551
工形鋼	"	373	875	54	447	—	20	46	305	—	—	473	1,647	2,120	—	—	—	2,120
特殊型形鋼	球山 Z.T. 1 括	—	316	11	9	—	—	11	258	—	11	22	594	616	—	—	—	616
鋼矢板	1 括	—	—	—	—	—	100	—	121	—	80	—	301	301	4	—	4	305
重軌條	22kg以上	1,485	231	4,943	148	—	—	2,527	1,755	—	48	8,965	2,182	11,147	6,524	—	6,524	17,671
輕軌條	22kg未滿	—	1,168	—	195	—	86	25	520	—	568	25	2,537	2,562	—	—	—	2,562
軌條附屬品及線材類	1 括	229	43	253	6	—	3	90	19	—	12	572	83	655	715	—	715	1,370
販賣用鋼片	"	—	3,103	—	2,201	1	202	—	—	—	2,648	1	8,154	8,155	299	—	299	8,454
販賣用鋼塊	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
販賣用シート	"	—	2,608	—	—	—	—	—	1,610	—	—	—	4,218	4,218	—	—	—	4,218
外輪	"	—	—	89	6	—	—	126	—	—	—	215	6	221	—	—	—	221
車軸及成品	"	—	424	—	—	—	—	—	—	—	—	—	425	425	—	—	—	425
短尺鋼	"	—	430	—	1,261	—	69	—	—	—	52	52	1,760	1,812	—	—	—	1,812
特殊鋼條鋼	1 括	—	—	—	155	—	—	—	2	—	—	—	157	157	—	—	—	157
鋼材計		2,950	22,947	7,914	15,085	60	1,981	6,239	5,819	53	9,645	17,216	55,477	72,693	7,952	—	7,952	80,645
銑鐵		—	4,66	—	1,501	—	—	—	—	—	—	—	6,160	6,160	—	—	—	6,160
販賣用屑鋼		—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,873	—	2,873	2,873	—	—	—	2,873

昭和9年2月中日鐵品種寸法別生産高 (其ノ1) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
八幡製鐵所の部													
<b>棒鋼の部</b>													
<b>小形丸鋼</b>		<b>中形角鋼</b>		<b>等邊大形山形鋼</b>		<b>鋼板の部</b>		46 2		<b>耳付縞中鋼板</b>			
9mm	3,856	38 mm	59	130mm	882	薄鋼板		50	24	45 mm	10		
10	14	50	42	150	2,026	sheets	13 1,637	70	7	計	10		
11	1	60	14	計	2,908	8	6	75	4	計	7,343		
12	12	65	142	等邊計	4,380	7	297	<b>耳付中鋼板</b>		<b>耳付縞厚鋼板</b>			
13	32	75	360	不等邊中形山形鋼		B.W.G.No.	30 310	4.5mm	32	8mm	19		
15	31	90	91	mm mm		0.5mm	46	5	42	9	24		
16	318	100	166	65x50	330	計	2,296	<b>計</b>		計	43		
17	1	計	874	75x65	182	<b>中鋼板</b>		<b>耳付縞厚鋼板</b>		<b>ユニバーサル平鋼</b>			
18	81	<b>大形角鋼</b>		100x75	400	mm		6	299	19mm	142		
19	1,192	120	79	計	912	0.8	47	7	69	25	8		
20	15	130	45	不等邊大形山形鋼		1	155	8	94	計	150		
21	28	150	48	mm mm		1.2	2	9	726	<b>珪素鋼板</b>			
22	8	計	172	150x90	987	1.4	25	9.5	1	0.35mm	1,009		
24	30	角鋼計	1,711	50x100	1,742	1.5	13	10	444	0.43	150		
25	88	<b>小形平鋼</b>		計	2,679	1.6	830	11	117	計	1,159		
26	1	19	153	不等		1.8	22	12	1,112	<b>鍍力板</b>			
28	34	22	151	邊計	3,591	1.85	316	13	7	lb			
30	4	25	169	溝形鋼		2	77	14	119	200	240		
32	121	<b>中形平鋼</b>		mm mm		2.3	544	15	42	170	645		
36	43	125x65	581	2.4	3	2.4	3	16	603	112	14		
計	5,984	150x75	1,025	2.5	20	2.5	20	17	10	100	122		
<b>中形丸鋼</b>		180x75	548	2.6	93	2.6	93	18	46	95	266		
38mm	40	200x70	122	2.9	133	2.9	133	19	65	90	224		
40	74	6''x2 1/2''	672	3	20	3	20	20	115	B.W.G.No.			
42	14	計	2,948	3.2	773	3.2	773	22	65	33	25		
44	115	<b>工形鋼</b>		3.5	119	3.5	119	24	2	31	7		
46	14	mn mm		4	139	4	139	25	83	30	594		
48	6	200x100	643	4.5	231	4.5	231	26	9	29	220		
50	129	200x150	703	4.8	10	5	389	27	1	31	7		
55	300	250x125	243	5	389	5.2	3	28	54	30	29		
60	200	300x150	992	5.2	3	計	3,991	29	2	30	594		
65	46	24''x7 1/2''	1,144	<b>厚鋼板</b>		31	17	30	24	29	220		
70	113	計	3,725	6mm	560	32	33	31	17	計	2,357		
75	127	<b>乙形鋼</b>		7	188	33	24	<b>其他の鋼板</b>		<b>美裝鋼板</b>			
80	37	nm mm		8	836	34	5	汽罐用板	2	<b>汽罐用板</b>			
85	37	100x50x40	76	9	1,446	35	13	飛行機用板	3	<b>飛行機用板</b>			
90	301	150x75x65	71	9.5	18	35	28	刃物用板	7	<b>刃物用板</b>			
95	85	計	147	<b>丁形鋼</b>		37	19	電氣爐鋼板	9	<b>電氣爐鋼板</b>			
100	606	1/2 x 3/4	55	10	1,037	38	18	特殊電氣爐	10	<b>特殊電氣爐</b>			
計	2,249	計	55	11	18	38	18	計	610	<b>鋼板計</b>			
<b>大形丸鋼</b>		<b>其他の棒鋼</b>		12	1,113	40	50	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
mm		電氣爐角	57	13	146	43	6	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
105	60	引拔磨丸	5	14	349	44	6	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
110	15	計	62	15	29	45	24	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
115	197	<b>型鋼の部</b>		16	294	47	7	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
120	107	等邊小形山形鋼		17	51	48	6	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
130	202	20mm	124	18	141	49	4	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
計	581	25	153	19	284	50	30	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
<b>小形角鋼</b>		30	142	20	316	52	2	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
mm		35	81	22	155	60	14	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
12	157	40	392	22.2	1	62	7	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
16	83	50	27	25	192	70	23	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
19	72	計	919	28	6	75	8	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
20	3	<b>等邊中形山形鋼</b>		<b>鋼矢板</b>		計	4,476	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
22	21	70mm	296	mm mm		<b>縞中鋼板</b>		<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
25	146	75	257	400x100	484	4.5mm	7	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
30	1	計	553	計	484	計	7	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
32	179	<b>型鋼計</b>		<b>球山形鋼</b>		<b>縞厚鋼板</b>		<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
36	3	條鋼計	28,266	8''x3 1/2''	287	6mm	1	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			
計	665	9x3 1/2	229	計	516	計	1	<b>鋼板計</b>		<b>鋼板計</b>			

<b>重軌條</b>	
30 <sup>K</sup>	10,329
40	8,495
45	490
50	2,106
計	21,415
<b>附屬品</b>	
F.P.9 <sup>K</sup> 用	1
30	504
37	245
40	693
50	15
スパイキ	31
計	1,494
<b>軌計</b>	
26,782	
<b>線釘材の部</b>	
<b>製釘材</b>	
5.5mm	3,124
計	3,124
<b>線材</b>	
5.5mm	5,906
計	5,906
<b>鋼線</b>	
2.3mm	3
3	40
4	7
5	8
6	10
8	1
計	70
<b>線釘計</b>	
9,100	
<b>其他の部</b>	
<b>鍛成品</b>	
普通鋼	80
普通場鋼	8
特場殊鋼	28
特場殊鋼	71
電氣爐鋼	187
計	187
<b>其他</b>	
外輪	307
車輪	573
ポールト	64
ナット	62
ナット	3
計	1,009
<b>其他計</b>	
1,196	
<b>鋼材總計</b>	
87,861	

昭和9年2月中日鐵品種寸法別生産高

(其ノ2) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數		
八幡製鐵部の所															
銑鐵		短尺及厚鋼		平鋼		銑鐵		荒銑		一號銑B		八角鋼			
本所	45,780	短尺	1,044	38mm	436	一號銑	174	荒銑	60	二號銑	2,043	16mm	21		
戸畑	9,190	厚鋼	2,346	50	378	二號銑	1,694	計	114	三號銑	5,600	19	177		
洞岡	30,535	計	3,389	65	192	三號銑	4,945	特殊銑		荒銑	142	22	32		
計	85,505	釜石製鐵所の部		二級品	41	四號銑	67	低磷銑	26	ベーク銑A	4,908	25	48		
鋼塊		棒鋼の部		三級品	24	計	1,071	一二三號	106	ベーク銑B	196	32	13		
普通鋼	133,693	丸鋼		棒鋼計		5,432	計	19,047	計	163	計	13,155	計	291	
坩堝鋼	30	12mm	739	型鋼の部			兼二浦製鐵所の部	低磷白銑	1	計	1	スプリング用平鋼			
電氣爐鋼	1,642	16	592	等邊山型鋼			銑鐵	二號	1	計	3	計		158	
鑄造鋼	574	19	795	4mm	273	銑鐵	銑物用銑	567	チルド銑		富士製鋼所の部		計		75
計	135,939	22	441	45	53	二號新	8,494	計	3	丸鋼		計			
鋼片		25	547	65	578	三號新	855	銑鐵計	19,218	13mm	701	計			
外部向	6,724	32	452	75	124	四號新	255	輪西製鐵所の部		16	824	計			
内部向	87,111	36	137	二級品	78	計	10,171	銑鐵		19	1,192	計			
計	93,835	38	191	三級品	9	鋼材計	6,547	一號銑A	140	22	860	計			
シートバー		44	199	計	1,115	シートバー		計		25	116	計			
外部向	8,279	二級品	189	鋼材計	6,547	計	1,923	平爐用銑		計	3,693	計		4,217	
内部向	11,903	三級品	43	計	6,547	計	5,706	A號金	3,441	計		計			
計	20,182	計	4,325	計	6,547	計	5,706	B號金	2,255	計		計			
リベットバー		19mm	36	計	1,923	計	5,706	計		計		計			
		計	36	計	1,923	計	5,706	計		計		計			

金屬材熱處理講習會

最近の工業界の勢は、殊にこの金屬材熱處理方面の知識利用の必要を強調してゐます。本館はこれ等に關し斯道の實際研究者に委囑して、必要の一端を講習せんとするものであります。貴所に於ける適當者の聽講推薦方を希望いたします。

日時	5月 17, 18, 19, 21, 22, 24, 25日			午後 5時半より 8時半まで、
場所	東京商工獎勵館 科目、時間、講師は次の通り			
金屬組織の概念	3時間			
東京帝國大學 工學部助教授		三島	徳七	氏
鋼の熱處理	5時間			
東京帝國大學 工學部教授		吉川	晴十	氏
焼入と焼入液	2時間			
鐵道大臣官房 研究所技師		鈴木	益廣	氏
非鐵金屬の熱處理	3時間			
航空研究所 技師		堀口	貞雄	氏
浸炭及窒化法	3時間			
東京工業大學 教授		山田	良之助	氏
熱處理爐	3時間			
理化學員 研究所員		黒田	正夫	氏
金屬材の検査	2時間			
本館技師		圖師	督	氏

見學 會期中に決定。講義の程度 中等學校卒業者程度。聽講資格 定員、業主より推薦せられたる者。50名、申込定員を超へた時は適宜詮衡す。聽講料 2圓、聽講許可の上、指定の方法により納入のこと。聽講修了證 科目を修了したものに交附す。申込期限、方法 5月9日までに申込書を本館に送達のこと。

丸ノ内 府立 東京商工獎勵館 電話丸ノ内(23) 1508(代表) 1307, 1309